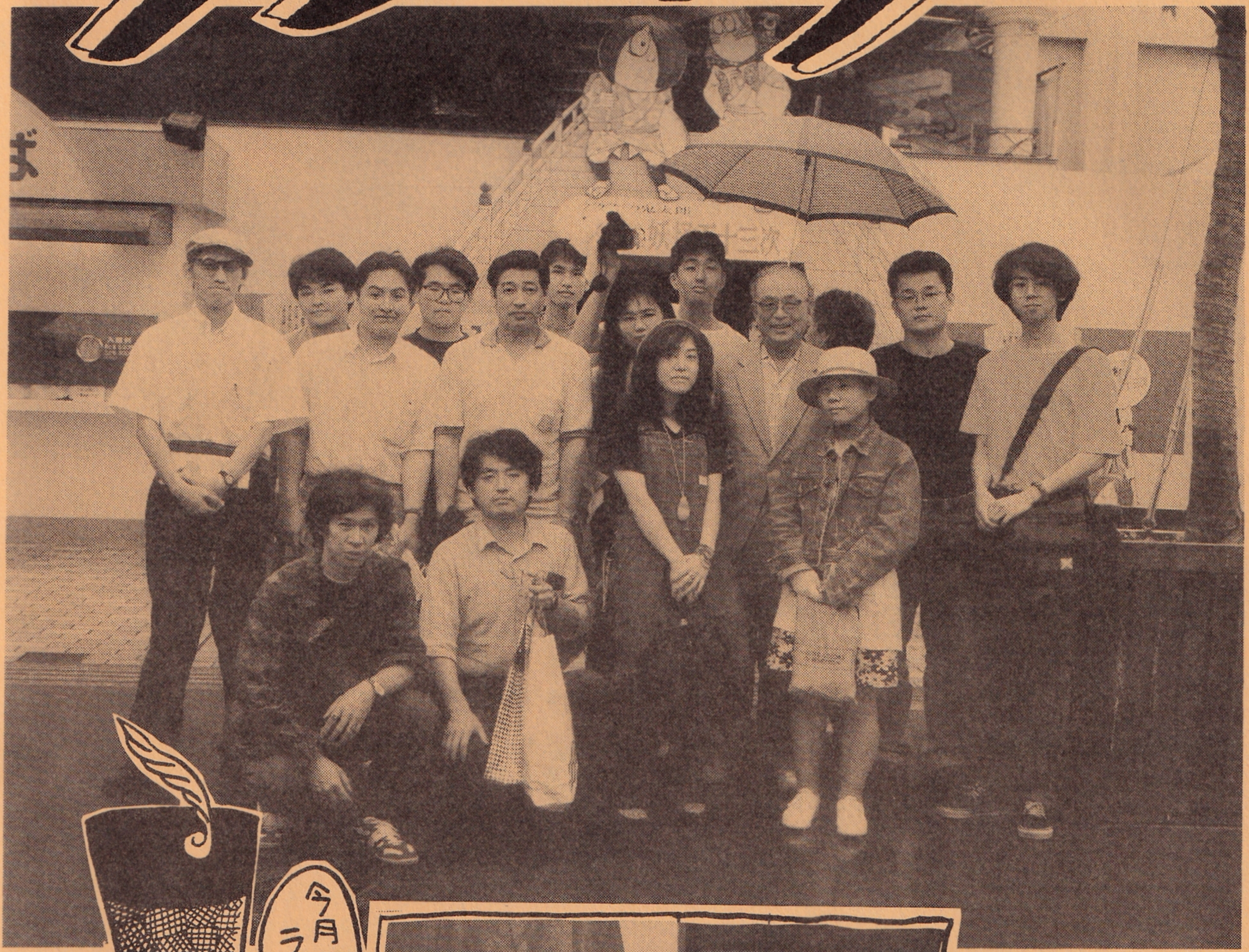
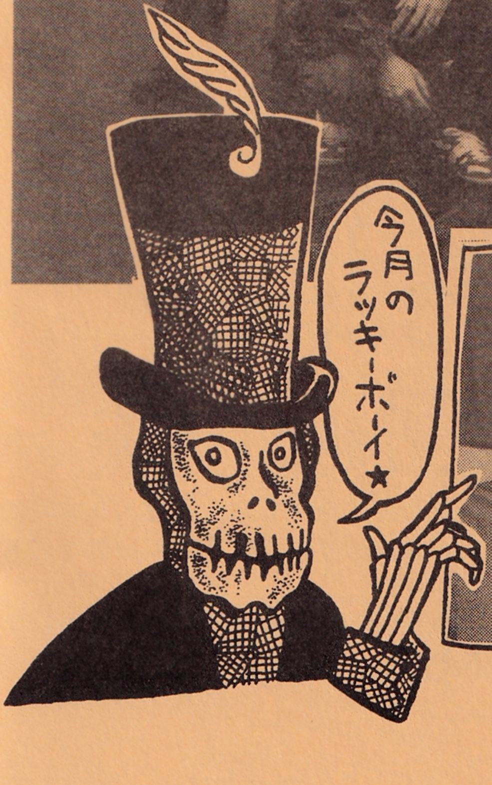
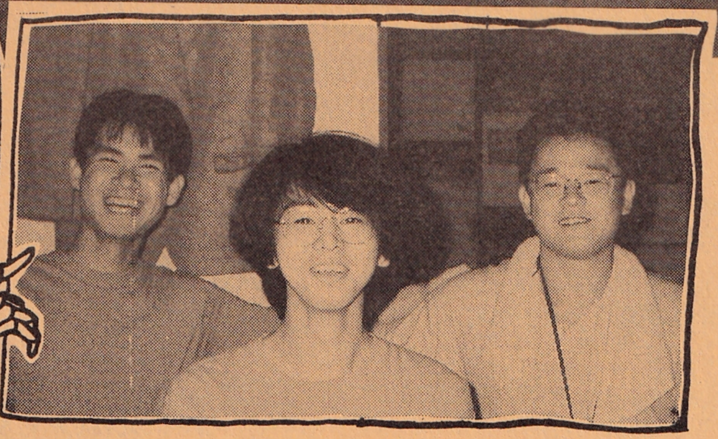
第31号

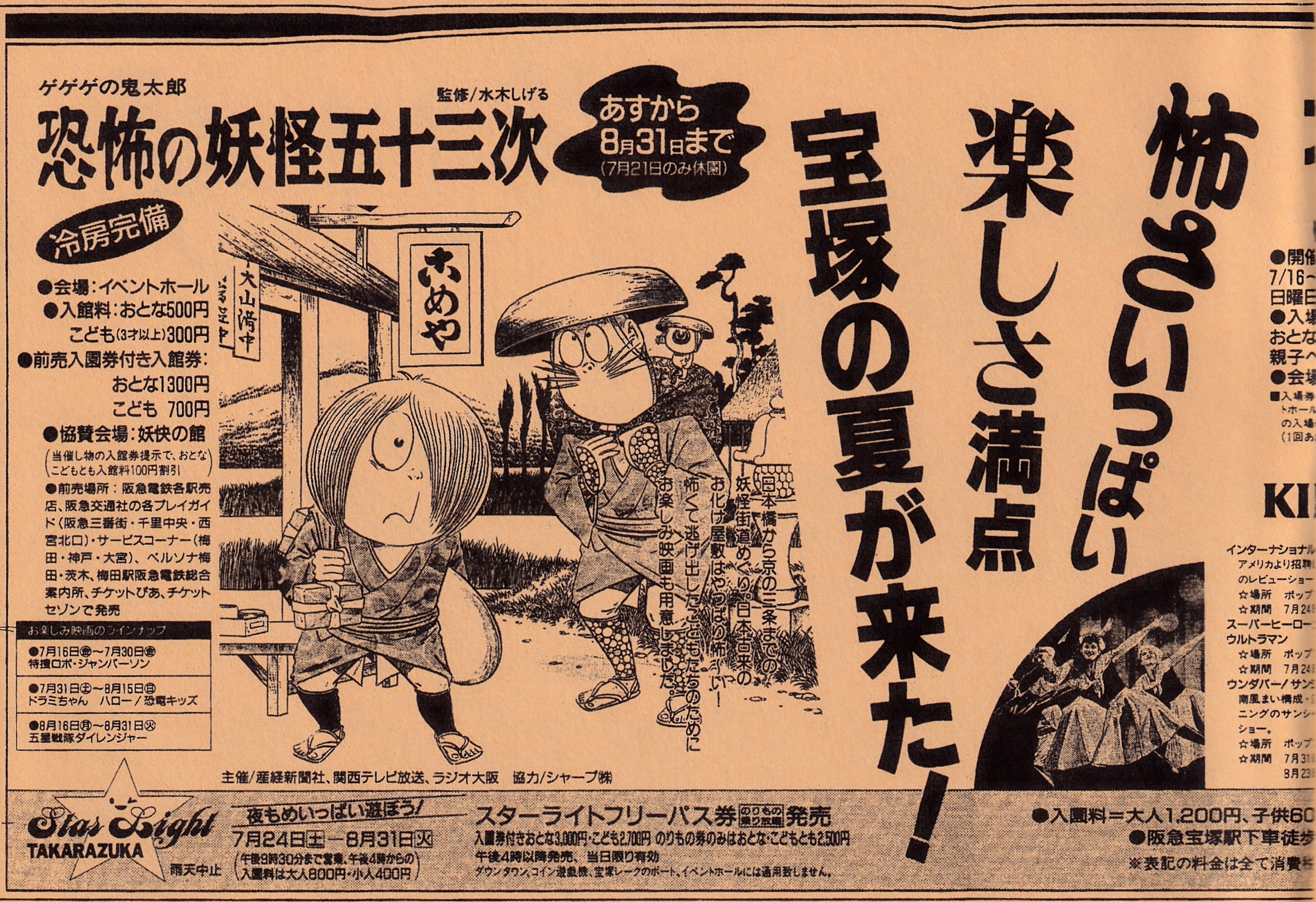
アツ







境港・大港神社



水木伝説サマーイベントinKOBE'93
会う時はいつもタワリシチ

開催日／平成５年７月１７日（土）～１８日（日）
開催場所／宝塚ファミリーランド、神戸市立若者の家

7月17日…11:00‥‥集合ＪＲ神戸駅&新幹線・新神戸駅
11:30‥‥出発
12:30‥‥着・宝塚ファミリーランド（象の前）
合流・開会のあいさつ
14:00‥‥水木しげる先生サイン会
15:30‥‥宝塚温泉ツアー
17:00‥‥出発
18:30‥‥着・若者の家
19:00‥‥夕食（こちらでお弁当を用意します）
20:00‥‥オークション（参加者の持ち込み可）
21:00‥‥肝だめし（自由参加）
22:00‥‥打ち上げ会
23:00‥‥消灯

7月18日… 9:00‥‥起床・朝食
10:00‥‥レクレーション
11:00‥‥あとかたずけ
12:00‥‥出発
12:30‥‥ＪＲ神戸駅にて解散

§集合時間が15分早くなりましたのでご注意ください。
@今年は、サイン会が土曜日に行なわれるため、この様な予定になりました。
※予定は変更されることがあります。過去、２回開催してきましたが、時間通り行ったためしがありませんのでご了承ください。
♭ＪＲ神戸駅で解散の後、希望者のみ喫茶店での打ち上げ二次会とします。

☆サマーイベント参加者一覧（順不同）☆

◉スタッフ

馬場　茂幸（兵庫県神戸市）、谷尾　靖彦（兵庫県神戸市）、北迫　耕治（兵庫県西宮市）
米吉　和久（兵庫県神戸市）、竹本　末礼（兵庫県尼崎市）、斉藤　美紀（奈良県奈良市）
瀬戸　信行（兵庫県神戸市）、佐藤　公紀（大分県大分市）

◎参加者

川口　彰敬（大阪府吹田市）、松井　秀彦（兵庫県神戸市）、幸治　　亮（東京都品川区）
澤田　光代（東京都立川市）、笠井友紀子（香川県大川郡）、影山　佳紀（福島県いわき市）
竹内　丈（東京都八王子市）、杉岡　隆（大分県北海部郡）、足立　倫行（神奈川県相模原市）
※以上１７名（男性１４名、女性３名）



ままアンケート回答まま

※今回のイベントについて一言（“”の中は、あなたを妖怪にたとえると？）

◆楽しみたい。ちょっと涼しくなってほしい。　【影山“のっぺらぼう”佳紀】
♣はりきって、参加させて下さいっ！　【笠井“猫娘”友紀子】
♥とても楽しみにしています。　【澤田“網切”光代】
♠水木伝説のスタッフのみなさん、頑張って下さい。私も応援します。
　【幸治“ねずみ男”亮】（奴の生き方を見習って、調子の良い人生を送りたい）
◆初めての参加ですのでよろしく。　【松井“河童”秀彦】
♣学校のつごうで途中参加になりますが、よろしくオネガイします。
　【竹内“ヘンラヘラヘラ”丈】（かなぁ…深いイミはないです）
♥私の会ヒは、もう切れているのでしょーか！？だとしたら、急いでコウシンしないと、おっくうなめんどくさがりの上、もう働いてるでしょ！？
３期分位と言わず、まとめて４ｏｒ５期分でもコウシンさせてくれませんか？よろしくおねがいします。
【川口“テイテイコブシｏｒちんちんこばかま”彰敬】（ちょっとマニアックでしょ）


SUMMER EVENT 1993
で、気になった事、16項目
その1: やっぱり私（サイトー）が集合時間に30分遅刻した。
その2: サイン会の日（7/17）が雨で残念だった。
その3: 会員NO.70の幸治亮くんが口をあけてねていた。
ZZZZZZ
その4: 深夜うす明りの中、幸治くんの上にスタッフの下本M礼氏が無言でのっかっていったのは恐かった。
（やっぱり男が好きだったんだ……スタッフ一同）
Mr. KOJI, Thank you for your letter.
……
いやー関西の人は冗談がキツくって……
その5: 夜中の怪談。北迫さんのコタツ。
灰皿
その6: 笠井さんはグラマーだった。
その7: 大分の妖怪でーもん佐藤君とホワジョンをもり上げた ダリヤー氏は不思ギな人だった。
代理
ズガーカバメント
そおかあ? オレっていつもこんなんやん
その8: HARD ROCK好きの馬場会長はIRON MAIDENのTシャツを着て妙にハイだった。
IRON MAIDEN
グー
グーッ
その9: 夜中参加者はまるでトペトロの村人状態でねていた。
松井さんの「カエルの合唱」はすごかった。
その10: 来年水木先生の自伝を出版なさるライターの足立さんは我々の夜中の猥談におきれていたのではないでしょうか?
その11: 北迫さんの作った朝食のホットケーキが大きくてとてもおいしかったので「こんなおいしいホットケーキ私1人で食べるわ」と言いたかった。
We Love Each Other
兄
弟
その12: ゲームとはいえ北迫さんをなぐった影山君はとても勇気があると思った。
そ、それではなぐらせていただきます……
皆さんおつかれさまでした
その13: 今年も米吉兄"おってん湊の川"瀬戸弟"とってん口の川"の"てんてんブラザーズ"の兄弟愛は美しかった。
そのくつ下は初版であるか?!
その14: かいきん賞竹内君が今年も元気に参加してくれてうれしかった。
境港出身
その15: 沢田さんはおとなしい女の子だった。
その16: 川口くんのくつ下（両足共）とズボンに穴があいていたのが許せなかった。
描いた人 MIKI SAITO
1993 AUGUST

とってん口ノ川の

Oh！ノーコメントぢゃ！

テーマ〈帰ってきたサマーイベント〉

〈湊〉皆さん、今日は。“貴方の心にＤＵＯ神戸”すってん湊川です。
今回もまた、ワケワカな爆弾対談で、キャンプレポートをやらしてもらいますねん。では早速……と行きたいところですが、相方のとってん口ノ川が遅刻していますので、ここは私の独壇場で、タイトルも勝手に決めちゃって・し・ま・い・ま・す・ね・ん。
つーことで、

帰ってきたすってん湊川の

「オークションを俺にも仕切らせろ～！」又の名を

「おかかえ運転手にされちゃったハーコリャ癪だキャンプレポートＢｅｓｔ５」

〈湊〉なんやワケワカランけど、取り敢えずＢｅｓｔ５の発表！はいど～ぞ。ジャジャ～ン！

☆★第五位★☆　☆★☆　遅　刻　☆★☆

〈湊〉今回はとにかく、時間にルーズな人が多かった。……特にスタッフに……。
まず、第一号は皆勤賞参加者、今やフハッの中では有名な“危機一髪屋”竹内丈くん。
君の場合は、致し方ない。何でも、大学の必須科目の合宿に参加したため、直接宝塚ファミリーランドへやってくる羽目になったんだから。サイン会に間に合わなくてもやってきた君はエライ。ウルトラ五つの誓いだ！
しかし、まだまだ甘いぞ。もう一人の皆勤賞、“ＡＶカメラマン”幸治亮（中国系じゃないよ）は、補習をさぼってやってきた。おかげで、就職先はダイヤモンド映像に内定したぞ。マグナム北斗もビックリ！
キャンプは年に一度の行事、みんなも、居りもしない神戸の親戚を危篤だと偽ってでも来ることだー。(byYorimitsu Sakamoto) ムチャクチャ言いよるなー。

《口》フハッハッハッハッハッハッハッハッハッ！
エラソーに言うではないか湊川くん。

〈湊〉ムッその声は……。

《口》そう、私は“新開地＝三万円ポッキリ”こと、とってん口ノ川。ただ今、ペケペケしてて遅れて登場。

〈湊〉君はゼンダマンか。ホンマ、ウソも大便やな～。

《口》誤魔化すんじゃないよ、晩飯の幕の内を遅らせたのは、あんたとちゃうんか～！
一時間半もの間、みんなをハラペコのまま待たせたんは、誰のせいやねん。



〈湊〉弁当屋に、予約せんかったオレのせいやねん。ゴメンナサイ。

《ロ》謝るんやったら、ほんなら、今回だけは許したろ。来年やるときは、しっかり予約せなアカン。

〈湊〉おおきに。せやけど、あの川口さんが持って帰った余った弁当。腐りかけてたんちゃうか？

《ロ》うん、あれは普通の人が喰ったら、アカンやろな。でも、川口さんやったらＯＫやろ。ほら、彼は今回、立派な妖怪展レポートを書いてきてるし……。まだ生きてるって事。

〈湊〉ナルホド。ところで、遅刻第二号はこのすってん湊川の弁当。

《ロ》そう、そして第三号がこの対談に遅れてきた私ロノ川。では、遅刻第四号といえば。

〈湊〉またまたスタッフ、斉藤美紀嬢ですね。

《ロ》やっぱりね。キャンプの打ち合せの時に、あれだけ大見得を切っておいて、やっぱり遅れたという。



〈湊〉まぁ、スタッフの間では常習犯として、名前が通っていますから……。でも、かなり反省しているようなので、そうチクチクとイジメないようにしましょう。

《ロ》そうですね。その代わり、先生のアシスタントの仕事をしっかりやってください。

〈湊〉応援してます。〇〇❤

《ロ》キモチワルイのはほっといて、しかし、我々も含めて困ったスタッフがいるものですね。では、第四位……になるのかな？ジャジャジャーン。

第四位　開けてビックリ＝三万円ポッキリで行こう！！　スペシャルクイズ大会

《ロ》さぁ、今年初めて登場したこの企画。とは言いつつも、内容がどこかからパクッているのはいつもの事とはいえ、その元ネタをバラス様な真似は、野暮のすること。……とはいえ、不肖、この私の性格からして、言わないわけにも云々……。

〈湊〉出ました！とってんロノ川得意の、言い訳がましい解説！何でもいいから、分かりやすくテキトーに言ってたらいいねん。

《ロ》だそうですので、簡単に言いますと、クイズの問題、ハズレ、そのカードの指示に従わなければいけないＡｃｔｉｏｎカードの三種を中央の場の中から引いて、クイズに答えるなり、変なことせなアカンかったりで盛り上がろうってなレクレーションでして。

〈湊〉そう、その恐怖の（？）クイズ大会において、参加者一同は、スゴイモノを観てしまったのです。そ・れ・は、今話題の『ゴジラＶＳメカゴジラ』を劇場公開に先駆けてみてしまったのです。どうだ、悔しいか古賀くん。

《ロ》あっ、それって影山さんが、北迫さんをしばいた一件のことですか。なんだ、スゴイモノなんてみたっけ？ってずっと考えてしまったじゃないですか。

〈湊〉ホントにスゴイモノですよ。内輪ネタだけど……。

《ロ》それって、正真正銘の内輪ネタ。参加してない人にはもちろん、参加者でも理解できないんじゃないですか。ちゃんと説明しておきましょう。影山さんにも失礼ですし。
さっき、説明したクイズに使う三種のカードの中の、Ａｃｔｉｏｎカードには、色々と

下らない指示が書いてありました。ちょっと、その内容を紹介すると、
「歌を唄おう」「何か芸をしよう」「このカードを引いた人は、今日のゴミ取り係に任命する」（ここら辺は、まだまだ気楽な方）
「このカードを引いた人は、今日の打ち上げ二次会で、必ずチョコレートパフェを注文すること」「その場で１３回まわってワンと鳴く」「参加者の竹内丈くんを３０秒以内に捕まえてくる事」（このカードが出た途端に何も知らなかった竹内くんは全力疾走で逃げてました。三回もキャンプに参加して、常連ともなるとハッキリ言って、スタッフのおもちゃです）

〈湊〉そして、今年もヤクザの噂が立った（？）北迫さんのネタが一問。
「スタッフの北迫さんと腕相撲をして勝つこと」実際に会えば分かるけど、スゴイ腕っ節！　勝てるひとって、そうそういないですよ。

《ロ》あと一問。これが例の『ゴジラＶＳメカゴジラ』に関係ある問題。それは、
「手近な所にいるスタッフの頭をしばこう」と、いう奴やってん。

〈湊〉このカードを引いたのが、北迫さんに顔が似てると噂の影山さんで……。

《ロ》カードを引いた時に、真横に居たのがヤクザの（噂ですよ。ウ・ワ・サ）北迫さん。
まぁ、例えるならゴジラってやつで……。メカゴジラ役の影山さんは、迷った挙げ句本当に殴りましたもんね。ホント凄かった。

〈湊〉これを見ていた人達が、誰彼言うなく、『ゴジラＶＳメカゴジラ』と囁いた。

《ロ》悔しいか、古賀くん。そして、クイズに答えられなかった人や、間違った問題を作ったすってん湊川氏等は、赤マジックで顔や手に落書をされるという罰を受け、たいへん盛り上がりました。

〈湊〉嘘も大便。気分はハカイダー、Ｊリーグのサポーター。

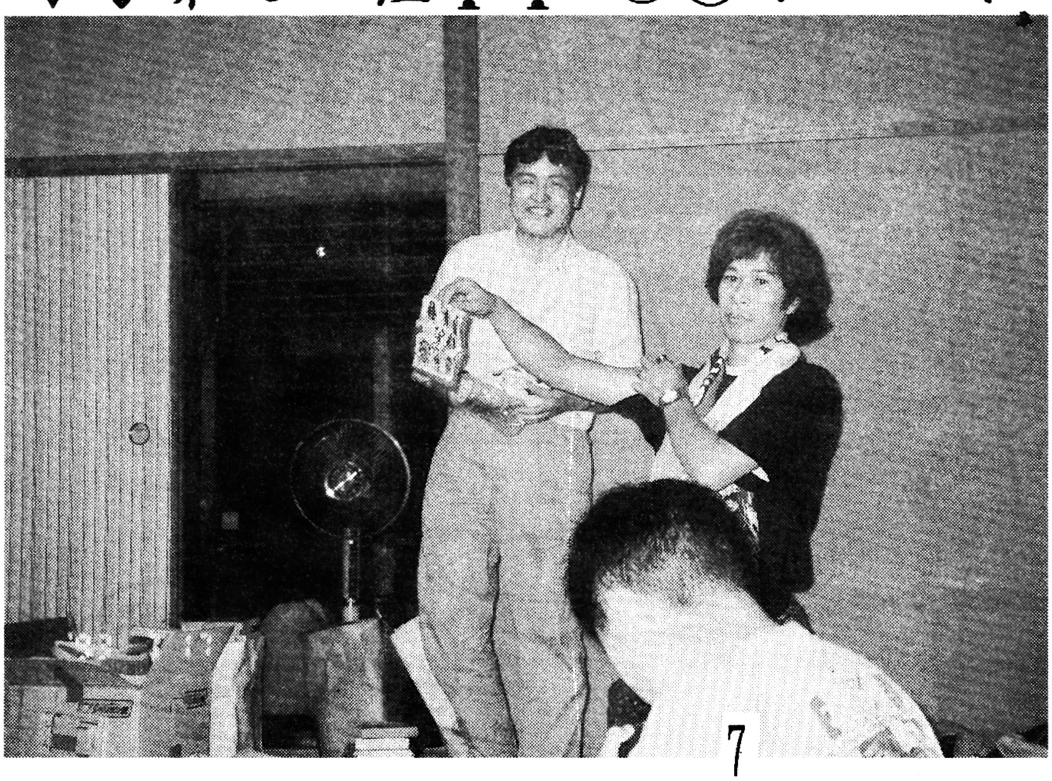
《ロ》かくいう私はバカイダー。

〈湊・ロ》はっはっはっはっはっはっはっはっはっはっはっはっはっはっはっはっはっ！

《ロ》来年も、この「３万９００円（税込）でバッチグーよ豪華クイズ大会」を行ないますので、お楽しみに。

〈湊〉さっきとタイトルが、ちゃうやんけ！！

♥♦第三位♣♠　◎◉ホットケーキ◉◎

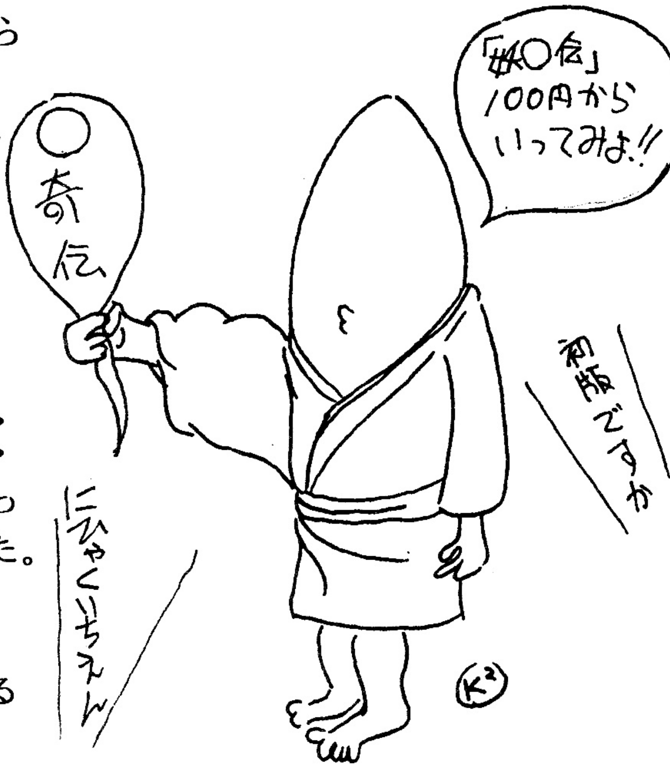


オークションで大活躍の司会、ダリヤー杉岡さん（左）と馬場会長（右）後ろ頭は、カメラマンの幸治亮くん。

《ロ》湊川さんは、今回の食事の中で、一番美味しかったのは何ですか。
〈湊〉そうですねぇ、初日のお昼に宝塚ファミリーランドの食堂で食べた固茹での冷し中華ですか？……あれなんか、具がほとんどなくて、印象的でしたが。
《ロ》確かに、あれは半端じゃなく不味かったです……って、美味しかったものを聞いてるんですよ。
〈湊〉わかってますよ。全然わかってないけど、わかっていますよ。打ち上げ二次会で食べた炒飯でしょ、あの脂っこい奴。疲れて眠い時には、胃にもたれるんだなコレが……。
う～ん、吐きそうなくらいだ。
《ロ》吐いちゃダメですよ。それじゃあ、不味かったって事じゃないですか。私が聞いているのはですね。
〈湊〉わかってますよ。皆まで言うなって事で……。美味しかったものでしょ。ほら、ちゃんとわかってんだから。晩飯のアレですよ。弁当の焼きそば。いい香りがしたんだ、プ～ンと来る。何の匂いだっけかなぁ。……そうだ、防腐剤だ。吐いちゃう訳だよ、あんなのじゃ。
《ロ》吐いちゃダメだって言ってんのに、この人は……しょうがねぇ野郎だね、まったく。
一番美味しかったといえば、例のホットケーキしかないじゃないですか。二日目の朝に出てきた奴。大きいんだコレが。座布団大のホットケーキ。下に絵が出てるでしょうけど、蜂蜜の中には“おかしな奴”は居ませんでした。
〈湊〉“おかしな奴”といえば、毎年一番話題をさらっていく、馬場会長に似たナイス・ガイの“ぬらりひょん”が今年は登場しませんでしたね。
《ロ》そうですね。彼も、昨年、一昨年と皆勤賞でしたけれど、やはり今年は時間がずれていたからでしょうか。しかし内輪ネタですね～。でもキャンプにくると、よ～くわかるんですよ。
〈湊〉“ぬらりひょん”の♥ぅぷりぃ♥な微笑みが見れないと、おじさんは少し寂しいです。
《ロ》こんな“おかしな奴”は、ホットケー（キ）……蜂蜜の中で溺れてて下さい。
ということで、北迫流ヤ〇ザ風ホットケーキ“食べ残したらタマ取ったるからな！”は大好評！



〈湊〉みんな、冷汗タラタラでヒ～ヒ～言いながら
食べてました。恐かったです。
でも、正直美味しかったです。ありがとう、
浜村純です。
《ロ》それでは、第二位。



✝✝第二位✝✝
‡オークション‡

《ロ》ゴッツゥモリアガリマシタ。過去三回行なってきた中で、最高の盛り上がりを見せました。
〈湊〉原点回帰です。
《ロ》司会を、元スパイ、現興信所のアンちゃん、でえもん“謎の九州男児”佐藤の相方であるＮｏ．１３５－本名、杉岡　隆。又の名を、ダリャー“パンツ見えてます”杉岡さんが、今マニアに話題の九州、怪人舞踏会のノリで担当してくださいました。
〈湊〉水伝スタッフはサクラとなり、値段を釣り上げること甚だし。儲けガッポリ？
《ロ》昨年、そんな悪い奴が居ましたね。彼のことを車寅次郎と呼びましょう。今回は一昨年に流行した懐かしいオリジナルの質問ギャグが、装いも新たに展開されました。
〈湊〉「初版ですか～？」「絵的に見て貴重ですか～？」「使用済みですか～？」
「いろんな意味で使えますか～？」「ダリャーさん、パンツ見えてま～す」……ｅｔｃ
《ロ》ハッキリ言って、使っている当人も理解していません。……ですよね、川口さん！

平成 5年 7月 23日

水木しげるFC
水木伝説 殿

〒651 神戸市中央区雲井通７丁目１－１（神戸新聞社内）
財団法人 神戸新聞厚生事業団

お礼のことば

時下ますますご清栄のこととおよろこび申しあげます。このたびは 北海道南西沖地震救援金 として、神戸新聞厚生事業団に多額のご寄託をいただき、まことにありがとうございます。

社会福祉のニーズが高まる現在、皆さんのご理解で、善意のご協賛をいただきますことは、私ども福祉事業にたずさわるものとして感謝に堪えません。ご趣旨にしたがい地域福祉向上のため有効に使用させていただきます。何とぞ今後とも温かいご支援をくださいますようお願いいたします。

ここにお礼のごあいさつを申しのべますとともに、領収証をお届けしますのでご査収ください。

〈湊〉ところで、儲けガッポリの売り上げはどこへいったんですか。たまには、真面目に聞きます。私でも……。
《ロ》はい、実はこのオークションは、何時の間にか、チャリティー・オークションになっていまして、売上金は、「北海道南西沖地震救援金」として、神戸新聞厚生事業団に寄付をいたしました。今後も、チャリティー・オークションとして開催いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。
〈湊〉なるほど、ナットク。
《ロ》来年の売り上げは、貧乏な私の生活費に当てられる事になっています。
〈湊〉お前なんか、二年三年喰わんでも死ねへんわ。川口くんの爪の垢でも、煎じて飲め！
《ロ》キフゆうたら、接吻のことですね。
〈湊〉そんなアホばっかり言うてるから、いつまでも助けがけぇへんねん。

★第 一 位★　☆水木しげる先生サイン会☆

〈湊〉今回ほど、腹の立ったサイン会はありませんでした！
《ロ》あっ、今年もでました。怒りのテンチョーですね。
〈湊〉ハイ。今年は天候に恵まれなかったうえ、水木先生の超過密スケジュールの合間を縫って行なわれたサイン会のため、毎年、リクエストしたイラストを書いていただけるのに、今年は定番の鬼太郎、おやじ、ねずみ男の三種類だけで行なわれていました。
《ロ》それでは、湊川さんはリクエストに答えなかった先生に腹を立てているのですか。
〈湊〉いえ、違います。先生が何を書いてくださっても、感激に変わりはありませんし、先生がお忙しいのは十分承知しています。がっ、しかし　何処のおやじ達か知りませんが、「ガロ」を持ってきて、その中からリクエストをして、それまでスムーズに流れていたサイン会を乱し、先生の手をわずらわせていました。
先生がお忙しいのを理解しないで、自分のことしか考えないような行動を取るのが、正しいファンといえるでしょうか。
私はそれで怒っています。
《ロ》ナルヘソ。それは確かに問題ですね。もちろん、そのおやじ達はキャンプの参加者ではありません。考えものですね。
〈湊〉てなわけで、怒りのすってん湊川でした。
《ロ》しかし、このおやじ達は自己満足していましたし、参加者の皆さんも先生に会えて、サインももらって大満足のようでした。
〈湊〉さて、今年もお送りいたしてまいりました、恒例のキャンプレポートも、そろそろお別れの時間がやってまいりました。
《ロ》Ｂｅｓｔ５にもれた出来事としては、夜中の怪談猥談、幸治亮がパンツに手を突っ込んで寝てた、疲れまくりの二次会等が参加者一同の胸に刻まれたことと思います。
〈湊〉来年は、更に更にグレードＵＰをはかりますので、皆様ふるってご参加ください。
《ロ》本日は、ご清聴誠にありがとうございました。といった所で、スタジオの幸治く～ん。



待ちに待ったサイン会。皆、あいにくの雨のことなど眼中にない…といった所。



ハイ、てんてんブラザーズのお二人さん、お疲れ様でした。

では、私の **音信不通** 《其の参》のコーナーを行ってみよう。

いや〜〜暑い暑い　寒い寒い　今年はど一なってんだァァ　まったく！！　人類が地球に対してやってきた事のツケが、そろそろはっきりした形になって現れて來たという感じですね。
でも地球の経済を動かしているような大企業や政治家が、この程度の事で考えを改める訳もないし、私を含めた虫けらのような一般市民はせいぜい「フハッ…」と虚しいため息を吐くしかできる事はないでしょう。
今年　九州・北海道の皆さんは本当に大変でしたが、会員だけでなく全国の人達が応援している事を忘れないで　どうか頑張って下さい。

さて、今年も懲りずに参加した水木伝説　真夏の恒例行事『サマーイベント‘９３』このイベントの年々　加速する 狂気にも似た楽しさは、参加した人は身をもって体験でき、参加できなかった人には皆目 伝わらないという極端な代物ですが、無念にも今年参加できなかった人達の為にExcellentな『サマーイベント‘９３　ＢＥＳＴ ５』を御贈り致します。といってもこれを讀んで來年も申し込みが殺到すると、またもやスタッフが半死半生になるであろう事が唯一気がかりですが………
それではParty　On！！

第５位　『白熱！？　ゲゲゲのクイズ大会ぃぃ〜！！』
　これは２日目の朝、みんなで布団を片付けて、美味しいBreak fastをいただいた後、輪になって始めたのだが、ただでさえ本業で過労死しそうなスタッフの米吉氏が寝る間も惜しんで、夢心地に作った難問の数々。あまりの難しさについついスタッフ（特に馬場さん）がヒント（と云うよりも答そのもの）を連発してしまうほどでしたが、歌あり笑いありで大盛りあがりでありました。

第４位　『めっちゃ美味！？　ブレックファ〜〜ストぉ！！』
　毎年お楽しみのBreak fastはスタッフの北迫＆斉藤の銘（冥？）コックコンビが おフランス風にホットケーキを作ってくれた。ちょっとコゲめのあるホットケーキが、ハチミツとバターにまったり（ふ…古ぅ……）と良く合って、これまたメチャ美味！！　気分はとっても **ちび※ろサンボ**。デザートには死ぬほどスイカが食えて、全員ホックホクでありました。（ゲップ！）

第３位　『失禁者 続出！？　爆走しまくり 怪談大会ぃ〜〜！！』
　誰が始める訳でもないが、消灯後は雑魚寝しながら「水・伝」名物の怪談大会。この日のために鍛え上げた猛者共が全国から集めた恐怖体験をぶつけ合う、まさに予定表には書いてない“裏イベント”。雨音が絶好のＢＧＭとなって毛穴が開き、さぶイボが出る程の大盛り上がり。時々、「北迫さんの実にためになるオ・ハ・ナ・シ」も“ブレーキの壊れたトレーラー”状態で飛び出しつつ、丑三つどきの怪宴はいつ終わるやも知らず続くのでした。
　とにかく、馬場氏と谷尾氏が朝の仕事に出かけようとした時でも、まだ盛り上がっていた位だから、みんな体力あるよなァ………

第２位　『白熱のバトル！？　欲望丸出しオークションん〜〜！！』
　サマーイベント恒例のオークション。今回は漫画だけでなく、メンコ、おもちゃ、プラモ他、今回初参加でありながら全員のVoltageを一気に上げてくれた大分のスギオカ氏の掛け声に続いてセリ値はどれもウナギ昇り。プラモにまで「それ初版ですかァ？」と質問（？）の声が飛び、異様な熱気と殺気に包まれながら無事に終了。最後にはグッタリして身体も動かせないくらいに盛り上げてくれたスタッフの皆様、本当にご苦労さまでした。
　しかし、「妖怪ポスト型　印刷マシーンセット」は惜しかったなァ……

第１位　『ついに真打ち登場！！　水木しげる先生のサイン会ぃ〜〜！！』

降りしきる雨の中、傘を差し出す係員と共に“妖怪博士”我らが水木先生がサイン会場についに登場！！　久しぶりに逢うスタッフ達やサマーイベントの常連組も勿論だが、はじめて先生を“生”で見た初参加者達の興奮の仕方は尋常でないものがあったようで、口を半開きにして先生を見つめたまま色紙を抱きしめながら“Ｆreeze”しちゃった人までいたくらいだった。生憎の悪天候のため一般客や子供の姿は無かったが詰めかけた水木ファンによってサイン会は盛り上がり、トラブルもなく無事に終了。

降りやまぬ雨の中でお願いした記念撮影にもニコヤカに協力して下さった水木先生　本当にご苦労さまでした。　あ〜りが〜とさ〜んさ〜ん！！

いかがだったでしょうか？今年のサマーイベントで起きた様々な事件の中から私が独断と偏見によって選び抜いた「ＢＥＳＴ　５」　喜んでいただけたでしょうか？

しかし、楽しいサマーイベントも喜べる事ばかりではないのです。そこで！？　惜しくも「ＢＥＳＴ５」に漏れた番外２つと、強制退会させられるのを覚悟で、今年のサマーイベント『Worst　３』をお送りいたします。

番外①　『祟り？　酸性雨？　馬場さん 髪が変色す！？』

水木伝説の“要”スタッフの馬場氏に今年大変な事が起きた。心労のためか、はたまた「ゲゲゲの鬼太郎の大秘密（松文館）」で水木先生の次くらいに詳しく秘密をバラしてしまったためか、なんと髪の毛が変色してしまった。それも白髪だったらまだ良いがよりによって「黄髪」！！　哀悼の意を込めて同じくスタッフの北迫氏がパンチに戻ったり、“謎の中国人”こと竹本氏が髭を剃り落とすなど、関係者はみなショックが隠せないようである。

それにしても今年のサマーイベントには異常気象の影響か「妖怪総大将ぬらりひょん」（鼻血付き）も、「妖怪手ぬぐいかぶり」も、ついでに「実写版ネズミ男」こと 大西いずる氏 も欠席で本当に残念でした。しかし、そのぶん「妖怪アクション小僧」「デーモン佐藤」「妖怪　単なる親父」「妖怪　顔面近遠法」等が参加してくれたため大いに盛り上がりました。よかったよかった。

番外②　『あ〜さっぱりした……　堪能！？　隠れ銭湯ツアー！？』

端から見るとほとんど百鬼夜行の我ら一団は、宝塚から若者の家に行く途中の神戸駅で自動車に分乗。私とマツイ氏とカサイさんは、米吉氏に連れられて水・伝名物「温泉ツアー」………のハズだったが、都合により米吉氏の近所の銭湯『波止場』へ。実際に行ってない人は、ここまで讀んで「何ぃ…？　温泉ツアーが銭湯ツアーやとぉ！？　詐欺やんけそれ！」と思うかもしれないが………「ここなぁ　うちの地元やねん！！」と車を降ろされて「波止場」に入ってみて驚いた。「うへェ！？　関西の銭湯ってみんなこうなのぉ！？」と驚くくらいの充実ぶり！！　普通の湯船とシャワーの他に「少しぬる目の湯船」「ビリビリ電氣風呂」「痔の人のための垂直型ジャグジー」「赤外線風呂」に「サウナ」など、いやー……下手な温泉よりもずっと凄かった。

マツイ氏に正しい銭湯の楽しみ方（関西編）を伝授して貰いながら、サウナで汗を流したが、回りの人がみんな関西弁で喋っていたのも、関西大好き人種の私にとっては嬉しかったなぁ　（それにしてもどんどん水・伝から離れていくなぁ……どうもすいません…）

若者の家で斉藤さんが「お弁当まだやのォ？」とボヤいている間、風呂上がりでさっぱりした私とマツイ氏とカサイさん、それに弁当係の米吉氏は、ゆったりと茶をしばいていた………などという事はもちろん秘密である。

Worst－3　『怪談以外はするなやとぉ！？　ふざけるな！！』
閉会式で感想を聞かれたとき、前夜の怪談大会で「怪談ではなくワイ談で盛り上がるのは間違いだ。以後気を付けて欲しい」などというようなとんでもない事を言っていた奴が約１名いた（実際　彼はワイ談になると眠り、怪談になると飛び起きるという離れ技を何度もやってのけた）、まあかく言う私も年に一度の怪談大会が楽しみで参加しているような所があるから、気持ちは分からないでもないが、怪談に固執せず、妖怪話を中心に色々なジャンルに話が広がるのが水木伝説の凄い所なのだ。

Worst－2　『なんちゅうカッコで寝とるんや！？　情けない…』
２日目、爽やかな朝もやの中で全員起床。だが、その中にパンツの中に手ぇ突っ込んで最後まで寝ていた上に、写真まで撮られ、なおかつその日解散するまでその事をネタにされ、あまつさえその写真が「フハッ」で「今月のラッキーボーイ」として表紙を華々しく飾ることになってしまった間抜けが１人いたが、この事に関してはあまり多くを語りたくない……
……グッスン………

Worst－1　『おのれはそれでも水木ファンかぁ！？　カスがぁ！！』
降りしきる雨の中のサイン会。先生も明らかにお疲れの様子なので、みんな遠慮してリクエストを自粛していたのだが、いきなりゲロの様な面をしながらガロを広げて、難しい注文をイロイロ言いはじめた奴が！！
その男の名前をここで公表したいのだが、再三に渡って馬場氏に「コウジ君　それは堪忍してあげてや」と言われたので「ホテルニュージャパンの横井社長を太らせたような奴」とだけ言っておこう。
一部の無神経なファン（実は、かく言う私も含まれておりますが）の行動に、水・伝スタッフ（特に斉藤さん）は怒りをあらわにしていましたが、全くもって当然と思われます。
この他にも、先生の好意でいただいたサインを法外な値段で売りに出したり、どうせ分からないだろうと思って、まだ駆け出しのド素人のファンに、ガラクタを馬鹿みたいな値段で売りつけて暴利を貪っている連中がいますが、そんな事をすれば全国の水木ファンの品位が疑われ、ひいては水木先生にもご迷惑が掛かるのは、火を見るよりも明らかの筈。いい歳こいた大人が、分別のない小学生みたいな事すんなよな　　ヘタレがぁ！！

サマーイベントの最後は喫茶店。美味しいピラフとアイスコーヒーで閉会式と２次会を決行。これで今年は終わりかと思うと参加者全員、テーブルを乗り越えて雑談に華を咲かせたが、その隅では今回、縦横無尽の大活躍をした米吉氏を先頭にスタッフ全員が憔悴しきった顔色（本当青白かった）でピクリともせず、うずくまって眠っていた。本当にお疲れ様でした
「いやー今年もほんまに楽しかったわぁ。来年もまた参加しよーっ」と、全員心に決めてさよーならーっ！　まーた　らーい　ねーーんっっ！！

注意：　本文中の特定の個人・団体に対する意見は、私（NO.70　幸治亮）の責任に於いて書き、「機関誌　フハッ」に掲載を依頼した物であり、「水木しげる公認ファンクラブ　水木伝説」に一切責任は有りません。
従って、この文章に対するご意見、非難、中傷、カミソリなどは下記までお送り下さい。

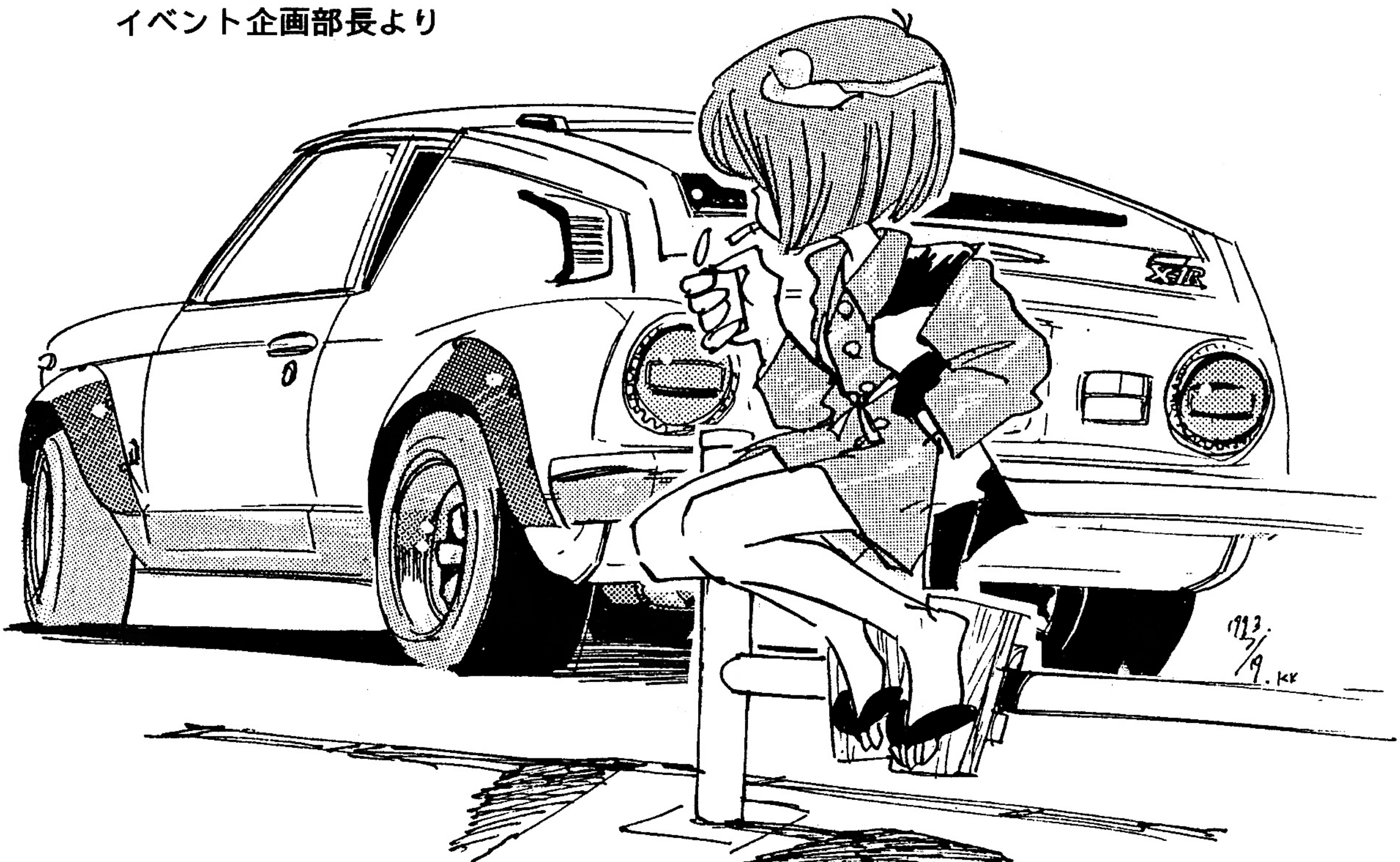
〒１４２　品川区　旗の台　６－２０－３－２０１

幸治　亮

水伝サマーイベント
スタッフの皆さん
おつかれ様

特に企画部長
ごくろー様でーす!
このチェリーで捧ぐ。

かっこイイ“チェリー”を
ありがとう。
イベント企画部長より



P.S. 下ネタ両連発で大ホイルスピンでした。
大変失敬! いやーでえもんさんってこんなに下品何です
ねーとか思っている事でしょう。　でえもん佐藤.


鋭くからくもなく下品でもない人畜無害な
水会サマーイベント
オークションレポーツ!
BY でるもんて バナナ
ウン
何はともかく御体サイン会を終え、青年の家へ…
司会、ダリヤー↓
とにかくオークションは始まったのだった…。
じゃあ始めようー。
ハード コアって
私はのっけから鬼太郎ハニカナに六百円ものっけた上 残りをマニアオヤジにイカれる。
いっ…いかん
あーアカンー これ買うたら パチンコ行けんなる〜
等と云いつつ買いまくるマニアオヤジ…。
でもそれ私も買います。
更に、永井マニア氏。
まんじり。



この収益金は北海道へ寄付された！
アイラブ・ジ・アース!!

タワリシチの感想のページ

拝啓　うっとうしい梅雨の時期となりましたが、皆様お元気にお過ごしのことと思います。
水木伝説サマーイベントのご案内有難うございました。行きたいのはヤマヤマなのですが、今回も仕事の都合で行けそうにありません。
小生、いわゆる地方公務員―福岡県職員―なのですが、現在の所属は、職員採用試験を実施しているところでして、6月末～9月にかけて、とても忙しい訳です。一昨年は、遮二無二参加したのですが、昨年はまさに試験日（試験は日曜日に実施するのです）とぶつかり涙を呑んで断念したところです。今年は試験日とは重ならなかったものの、現時点では先行き不透明のため、参加を見合わせる次第です。水木ファンの一人として「仕事」を理由に参加しないのはハナハダ遺憾ではありますが、クソ暑いなか残業が続く地獄のような職場でして、何卒お許しください。
サマーイベントも３回目を迎え、恒例化しつつあるようで本当に喜ばしいことです。来年は地獄から脱けだして参加したいと思います。今後ともサマーイベントが、息長く続きますよう、また水木伝説スタッフの皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。　敬具　1993.6.22

Ｎｏ．６４　水上　文生

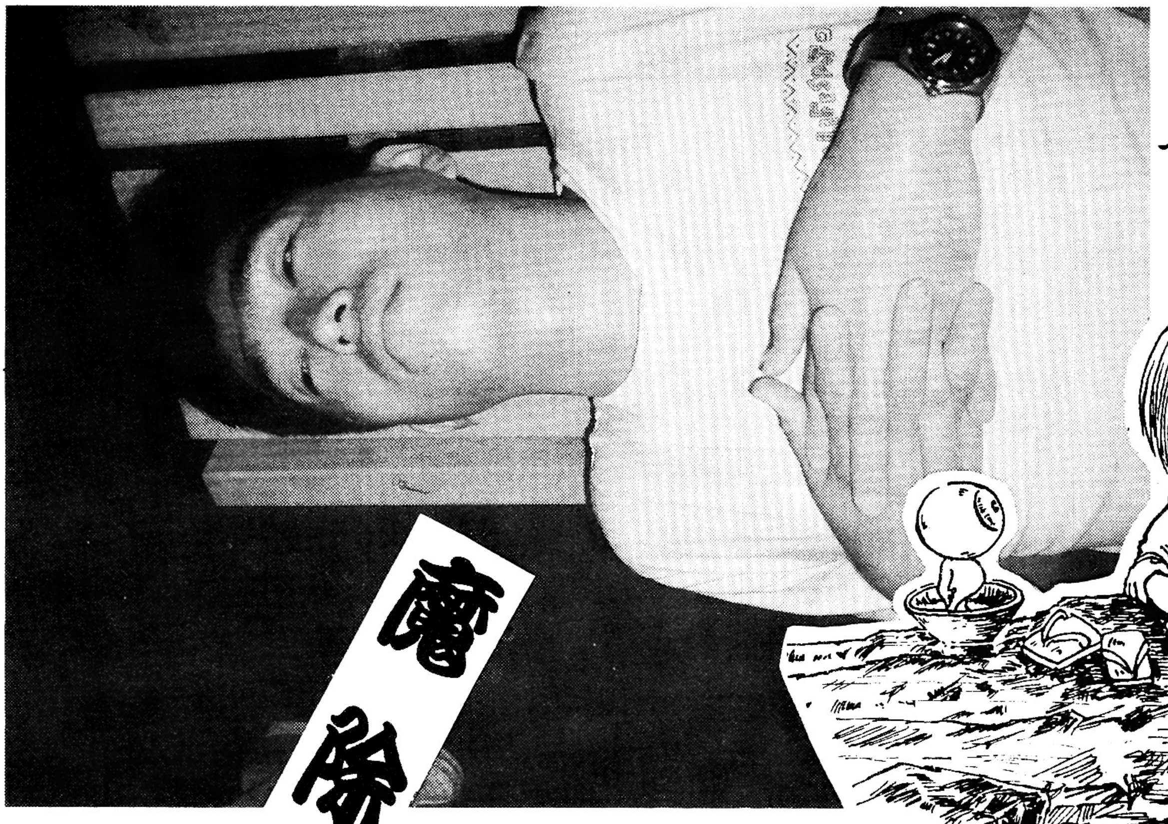
【編】　記念すべき第一回目のサマーイベントに参加してくださいました水上さん。来年はきっと参加してください。スタッフ一同お待ちしております。「フハッ」２９号に載っていた坊っちゃん達二人も一緒に来られてはどうですか。立派な水木ファンに成長するように、仕込んであげましょう。

先日はお世話になりました。サマーイベントで楽しい思い出を作る事ができて面白かったです。こういう機会を与えて下さってありがとうございます。
何と言ってもうれしかったのはサイン会です。初めて先生とお目にかかれてサインを頂いて光栄でした。サインは部屋に飾っています。
オークションでも、欲しかった物が手に入れて、ホクホクしています。みんなのやりとりも絶妙でノリがよかったですし。夜中の怪談話も、予定外のもり上がりで恐かったですけど面白かったです。サワダさんと言う人とも仲良くなって最後まで楽しくすごせてよかったです。
もし、よろしかったら毎年も参加させて頂けたら……と思っています。今回初めての参加と言う事で、何分にもご迷惑をおかけしましたが、ありがとうございます。
使い古された言葉ですが、日常を忘れて童心に帰ることができた……と思います。
帰りのフェリーの中で思い出しながら、ちょっと涙ぐんでしまいました。恥ずかしながら、自分でもまだこんな風に泣く事ができるのかと思いながら、てれると言うか、まだ私もガキなのか……よっぽどストレスたまっているのかしら、私ってば、本当。
それでは、この辺で失礼させて頂きます。これからの活動、期待しています。
では。また。この辺で……。　１９９３．７．２９

Ｎｏ．２６　笠井　友紀子

【編】　香川から初参加の笠井さん。夜中の怪談では、地元香川の本当にあった話を語って下さいました。この話には川口くんも大喜び。本当に恐かった……。
年々、スタッフの高齢化にともない、イベント終了後“疲れるから来年はもうやれへんからな”という声をよく聞くようになりましたが、笠井さんのように喜んで頂けると、１年３６５日の内のたった２日くらいは疲れてみるのもイイかもね。とか思いつつ、来年の計画を立ててしまうのですが……やっぱり楽しいですからね。やめられませんよ、コレは……。

≪お詫び≫ 竹内丈くんのサマーイベントのレポマンは、締切に間に合わなかった為、次号に掲載いたします。なお、次号は「水木しげるロード特集」ということで、竹内くんがレポマンを書いてくれるハズです。がんばれっ！危機一髪屋！



私が
幸治亮だ！



サマーイベントを終えて

イベント企画部長　米吉 和久

もう早いもので、イベントが終わって皆さんと別離てから、１ヶ月とちょっとが過ぎました。
あれから皆さんも御身体に変わりなく、この異常気象の中、元気に「古本屋めぐり」に「本屋めぐり」に励んでいると思います。お目当の先生の本は手に入りましたか？
さて、毎年なら「フハッ」のこの号はキャンプの感想などのお手紙で、誌面が埋め尽くされるところですが……。
昨年までとは、日程が逆さ柱（失礼）逆さまになったり、いろいろと手順が狂骨（こりゃまた失礼）狂い、皆さんには大変ご迷惑をかけました。
天候も悪かったので、皆さんのお気に召したかどうかもわかりません。
土曜日の夜、お弁当が遅れて申し訳ありませんでした。「なにぶん、大人数分を用意しなくてはなりませんので」といったのは、弁当屋の人です。ごめんなさい。
今、私自身の反省は、もっと外で遊びたかったという事です。来年は皆んなで野球や、ドッジボール等外で遊びましょう。———が、しかし———
来年のイベントは、開催が危ぶまれているのです。馬場会長からも「参加者が年々少なくなってきているので、一時的にキャンプの開催を停止すべきだ」「企画を練り直す必要があるのでは」という声が各方面からあがっています。
私もそう考えている一人です。来年は「し・な・い」

な・い・しょ・の・話

瀬戸 信行

今年も無事にサマーイベントが終了しました。参加者の皆さん、スタッフの方々、お疲れ様でした。……いえいえ、ドウイタマシテ……
さて、ここで私はないしょの話をひとつ。今年のキャンプの中心人物、米吉テンチョーが、上記のように、来年は「し・な・い」なんて言っていますが、本当はテンチョーは既に、来年の７月に休みを確保しているのです。来年も、愉快な仲間が待っていますよ。
ナイショ、ナイショ、ナイショノハナシハ……。

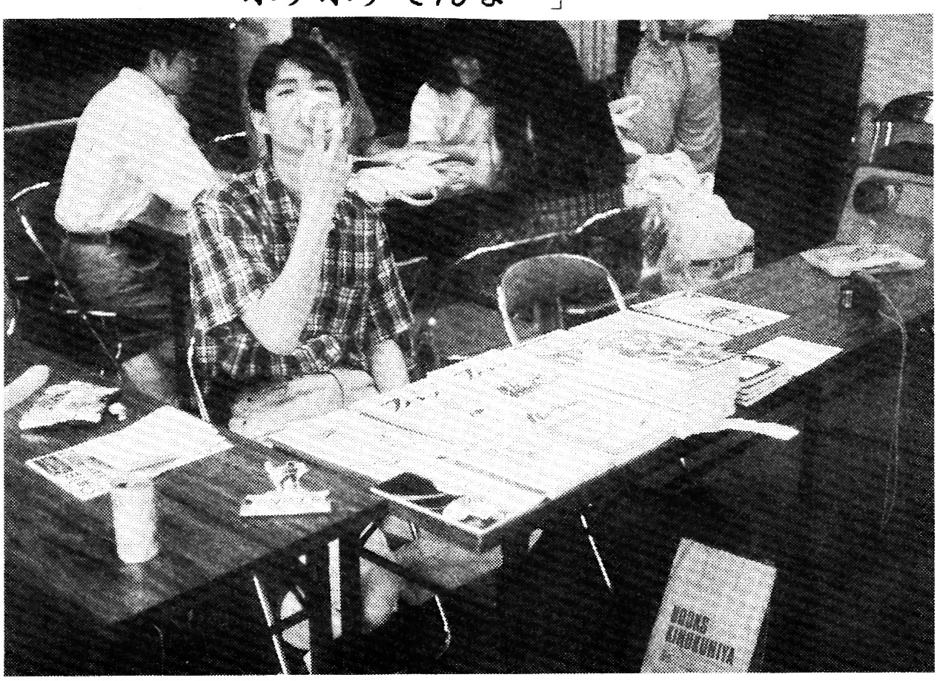
１９９３
～MIZUKI DENSETSU～
攻撃再開

１．「怪人舞踏会」参加で九州地区進出
２．好評「水木伝説X・妖怪百物語」早くも完売寸前
３．商業誌進出『ゲゲゲの鬼太郎の大秘密』全国発売
４．水木伝説サマーイベント「あう時はいつもタワリシチ」大成功
５．水木伝説スタッフ―斎藤美紀・嬢―水木プロアシスタント採用

丁度１年前でしょうか、某団体の代表が当サークルを営業妨害だと“水木プロ”に訴えたことがありました。また、提携している同人誌を通じて、そして某団体の発行している会報で当方を叩きました。これは勿論大変な誤解なのですが当方は小団体、逆に「名誉棄損」で訴えようとも考えましたが相手は出版社と手を組んで本格的に活動しているので適いっこないと判断し活動の方はしばらく会報だけにしておりましたが(水木先生の作品に『勲章』というものがあります。天女の衣を奪ったねずみ男を少年が訴えるが、無力な少年は逆に追放されるという物語ですがこれは現在の我々に当てはまるのではないでしょうか？)、スタッフ一同で相談し『解散』という方法も考えましたが、折角水木先生にお世話になっているのに申し訳無いと思い、ならば汚名は良い活動をして挽回しようとようやく重い腰を上げました。どうか会員の皆様。我々を信じ、そしてこれまでのように応援してください。また、これまで会員の皆様にはこの事態を黙してきましたが、そのことについてはお詫び致します。

★「怪人舞踏会」参加で九州地区進出

☞店番の瀬戸君。売れてますか？
「ボチボチでんなー」





怪人舞踏会

突撃！アパラチャノ・レポート
其の参

レポーター・しげ幽鬼（水木ＦＣのＨＩＤＥ）



目立つことに関しては天下一品。ダリャー氏
☜盛り上がる『怪人舞踏会』

ＡＣＴ・１　大分は今日も雨だった……

８月１日：午前７時40分－別府港

水木伝説、新鋭スタッフ“でーもん佐藤”率いるＨＦＣ主催の『怪人舞踏会』に懲りもせず再び参加した。天候は相変わらず雨。（前回も雨だった）連れの瀬戸・変臭腸を引き連れ別府に着いたのは8時前、前回は佐藤氏に車で迎えにきてもらったが2度目ということもあって自分たちで大分まで行くことにした。バスでＪＲ大分駅まで約30分。会場まで徒歩で30分ほどで到着するので二人でテクテク歩いていた。2度目ということで全く迷うことなく10時前に到着した？アレ！。二人を迎えてくれたのは前回「カッパマン」を自称したダリャー氏。今回は白い雨カッパを着熟し「カッパマン・ホワイトＲＸ」だそうで、それは結構なんですけど、そんな格好しているから雨が降るんですよ。

ＡＣＴ・２　怪人舞踏会開幕

雨天ということで参加者も参加サークルも少なかったのですが開催時間より約20分遅れで開幕。今回も「軍艦マーチ」にのって始まったのでした。水木伝説もサークル参加し、会報などを販売したのですが売行きはさっぱり、総売上げ1300円でした。

ＡＣＴ・３　コスプレ大会

しかし、我々が参加したのは本を売ることが目的ではありません。この怪しいイベントに参加するのが目的、早速始まったコスプレ大会は前回より内容が濃く、ストリートファイター、ドラゴンボールＺ、など現在人気作品のコスチュームを着る人が多く我水木伝説からも№123 野口由紀子が鬼太郎のコスプレをして頑張ってくれました。しかしフェイスハガー男は怖かった。

ACT・4　アニソン・イントロクイズ

私、会長の馬場は年甲斐もなくこの「アニメソングイントロクイズ」に参加して見事な成績をおさめました。自称「オタクではな~い」私ですが古いアニメソングならおまかせです。最近のはちょっと分からないけど、今回は「怪奇特集」ということで旧作の「悪魔くん」や「妖怪人間ベム」など私の得意の分野からの出題だったので張り切ってしまいました。しかし、この「アニメソングイントロクイズ」。出題は他と同じようにイントロの頭出しで始まるのだが、解答の仕方がやや怪しい。答えが分かった人がトンカチで司会者の頭を殴りにゆくのだ。

ACT・5　恐怖・まずいもの大会

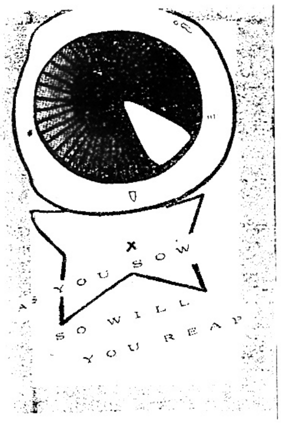
私は参加していないので分からないけど本当に拙いそうだ。ゲームはジャンケンで負けた方がテーブルに置いてある得体の知れない飲物を一気に飲み干すというもの。飲物は、勝ち抜いて行く度に拙くなって行くそうで、このゲームに参加した瀬戸変臭腸は準決勝まで進出したがさすがに「A＆Wのハンバーガーより拙い」といってリタイヤした。優勝者は後でゲロを吐いていたそうだ。来年の「サマーイベント」でもやるぞ。

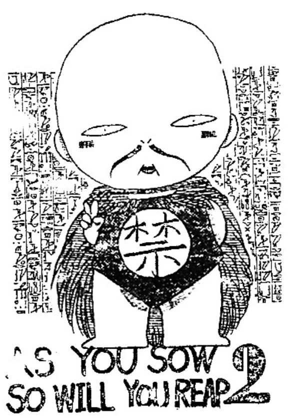
ACT・6　オークション

参加者が書いたイラストや同人誌を商品にしたオークション。「サマーイベント」の直後に開催されたので我々が「初版ですかー」等というちゃちゃを入れた。水木FCも、大阪名物「あわおこし」と超拙い「カレー飴」を競りにかけた。それがなんと２５０円で落札。珍しいところでは鬼太郎と目玉親父の同人誌を４１円で落札。いや間違えた、４１円切手と交換で落札。こんな馬鹿なことをする奴は「水木伝説」に決まっている。

鬼太郎のコスプレでがんばってく☞れたNo.123 野口由紀子ちゃん。太ももが……ホホホホホッ。今度スタッフになりました。よろしく。
後ろでアホなことやっている男は無視してください。
☟オークションで落札した同人誌２冊。大分でこういうモノに巡り合わせることができる幸せ。ホホホホホ。



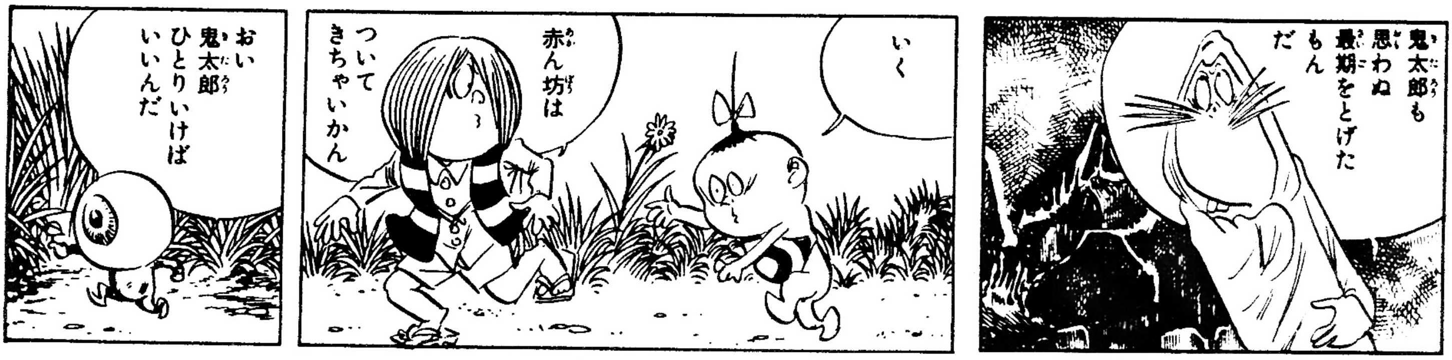




ACT・7　最後に……

我々「水木伝説」スタッフはわざわざ九州まで何をしにいったのだろう？。と、疑問を持たれる方もおられるだろう。たしかに大したことはしていない。だが、我々が参加することにより大分より４人の会員が増えた。今後も参加して　水木しげる先生の偉大さを伝えていこうと思う。本当に楽しいイベントだし、我々が九州まで行くことは滅多にないので、次の開催では九州会員の方、ぜひ参加して欲しいと思います。

★商業誌進出『ゲゲゲの鬼太郎の大秘密』全国発売



去る８月20日、新鋭出版社『松文館』より‘ゲゲゲの鬼太郎の大秘密’が発売された。昨今のカルト本ブームにのり発売されたこの本の執筆は我等『水木伝説』である。原稿の依頼は４月頃からあったのだが、「フハッ」読者には‘ないしょ’にしておいたほうが面白いと判断し、これまで黙していたが、書店で始めて手にされた方はさぞ驚かれたでしょう。お詫びと言っては何であるが、「フハッ」読者には特別に‘ゲゲゲの鬼太郎の大秘密’の完成までの「ここだけの話」を簡単ではあるがご紹介しよう。

事の始まりは昨年12月、水木先生が神戸にホピ族の講演に来られた日のことである。同行された宮田雪先生と始めて会ったのその時である。その日、宮田雪先生には『ノストラダムスの大予言』の脚本の話を聞かせていただいただけで別れたが、今年の２月、「新朝社から貸本漫画の復刻本を出すので協力して欲しい」という電話をいただいた。勿論返事はＯＫ。その後３月と５月に再び宮田さんとお会いし、具体的な話に盛り上がる中、“飛鳥新社”と“データハウス”の『サザエさん』話がもち上がり、「ゲゲゲの鬼太郎」のカルト本を出したら面白いのではないか？という宮田さんの提案でこの企画が動きだしたのである。早速出版社を紹介して頂き、６月より執筆に取りかかる。宮田さんがリライトを担当し、８月１日には店頭に並ぶ予定だったが７月、宮田さんがアメリカへ仕事で発ってしまい、連絡が思うようにできず20日遅れで発売となった。製本まで我々が担当した仕事は原稿は勿論の事、図版の設定、リライトしてもらった原稿の手直しなどだが、当方が書き上げた原稿は、40文字14行詰めで200頁。それを宮田さんは読者に判り易いように手直ししてくれた。中には没になった原稿もあるが宮田さんは‘水木伝説Ⅸ-ねずみ男特集-’の原稿を使用したいといい、そのまま収録されたものもあるはずだ。ある団体は、当サークルの運営に冷ややかであるが、こうして我々の作品研究を評価してくださる人もいるのだ。製本までの経緯にはまだまだ波瀾万丈な話があるが、またいずれご紹介しよう。この本が好評ならば第２弾、第３弾と、また「悪魔くん」「河童の三平」も出す予定である。

★水木伝説スタッフ―斎藤美紀・嬢―水木プロアシスタント採用

『水木伝説』の表紙絵でお馴染のスタッフ斎藤美紀嬢が水木先生のお仕事を手伝っていることは前号でも紹介したが、我々ファンクラブの一員が、水木先生のお仕事を手伝えるなんて素晴らしいことなのでもう一度ご紹介しておこう。『フハッ』や『水木伝説』の絵を見て「うまい」と絶賛した水木先生が「忙しいときに、仕事を手伝って欲しい」という話があり、現在自宅で資料などを送って頂き、画集のお仕事を手伝っている。私も、出来上がった作品を見せてもらったが素晴らしいものでした。斎藤美紀嬢は水木先生のお気に入りの一人で、これからも水木伝説と水木プロのジョイント役として活躍されるだろう。

★水木伝説サマーイベント「あう時はいつもタワリシチ」大成功

悪天候、水木先生多忙中につき講演予定中止など悪条件に見舞われた今回であったが、盛り上がりに関しては此れ迄の大会を上回っていた。特に、来年春に発売予定の水木先生の伝記『水木しげる伝』(文芸春秋)の著者、ノンフィクションライターの足立倫行(のりゆき)さんの参加が大きかった。色々と取材されたので来年春の刊行が楽しみだ。

その他は、別に特集を組んでいますのでそちらを参考にして下さい。

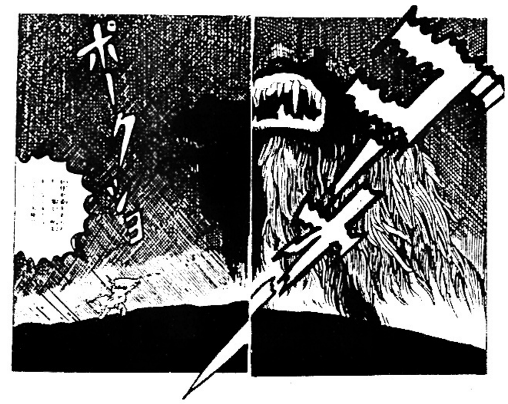
★好評「水木伝説X・妖怪百物語」早くも完売寸前

色々ありまして、半年遅れで配布致しました『水木伝説X・妖怪百物語』。お陰様で好評のうちに完売となりました(コミケで)。今回は、発行部数がいつもより少なかったのでこれから入会される会員さんたちの要望が多ければ、すぐに再版致します。

また、新刊『水木伝説XI・水木しげるの子供の国』は水木先生のファンタジー物の特集で、未復刻作品「コマ」。久しく収録がなされていない「金太とピン子」も完全版で収録します。他、「子供の国」「テレビくん」「鳥かご」「丸い輪の世界」「合格」などの特集も行います。現在、急ピッチですすめていますので、今しばらくお待ち下さい。







お知らせ

毎度毎年お馴染の更新のお知らせです。『水木伝説X・妖怪百物語』の巻末で第9期更新のお知らせをしているので既に手続きが終了している方もいらっしゃいますので今回は未更新者の名簿を明記しておきます。以下の方、更新の手続きは例年通り**第9期会費・3000円を無記名郵便為替か現金書留**にて

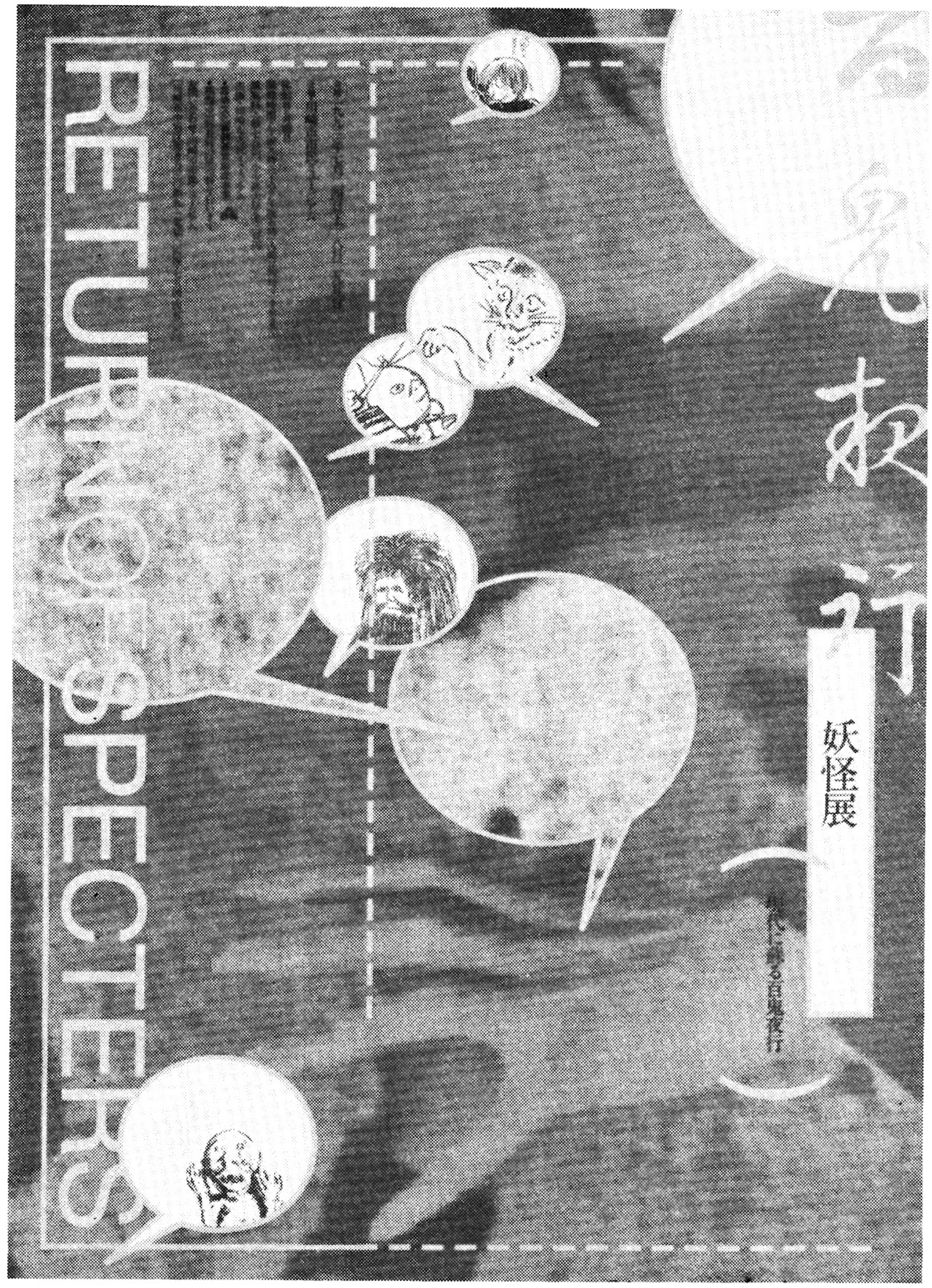
〒654−01
神戸市須磨区北落合3丁目38−217−709　馬場方　水木しげるFC・水木伝説
まで郵送してください。締切りは年内ですので、ごゆっくり。

No.11　野本奈津子、No.12　平野孝、No.14　古賀弘明、No.18　松田浩之、No.19　鈴木隆之、No.22　斎藤裕司
No.23　佐藤美代子、No.26　笠井友紀子、No.27　山本雅子、No.30　高橋菊乃、No.33　佐々木智美、
No.36　酒井哲也、No.39　小玉英雄、No.42　三枝孝栄、No.47　中村正夫、No.49　高橋正彦、No.54　土田重之
No.57　柴田誠、No.58　小林俊夫、No.66　松原理江、No.67　中島善智、No.68　中山俊宏、No.73　河合誠
No.76　高山学、No.77　田中隆克、No.81　竹本英樹、No.82　鈴木寛之、No.83　影山佳紀、No.84　山本真
No.85　福田淳一、No.87　斎藤実津雄、No.88　加藤泰三、No.90　坪井卓、No.92　中川雄三、No.93　旭竜也
No.95　宮田匡巳、No.99　猿田誠一、No.105　石山清美、No.106　林亨、No.109　大西一己、No.110　萩原豊美
No.112　宮元直士、No.113　久郷征宏、No.114　中澤厚、No.115　浜崎俊一、No.117　正林浩高
No.120　岡本真一、No.121　杉澤秀明、No.122　岩松真澄、No.125　森田元弘、No.126　松村宗一
No.128　柏木寿一、No.130　堀口康彦、No.131　松井秀彦、No.132　江本光生、No.133　松岡克優
No.135　蛭間雄二、No.136　澤田光代、No.137　諏訪昌夫、No.138　岸本倫太郎、
1993年9月11日現在

No. 13

川口 彰敬の

人生はおっかむろ



前略、先日のサマーイベントにおかれましては、スタッフの皆様お疲れ様でした。さて、超ズボラにして筆無精の私が今回筆を執りましたのは他でもありません。

お礼を申し上げるためです！！

先にも申しましたが、私超ズボラなもんで、近所に〒局があるにも関わらずほとんど立ち寄らないもので、今費の更新なんて毎度々々遅れてしまいます。サマーイベントに参加する、更新する、そして初めて私の手元に会報フハッ第３０号がまいりました。このフハッ第３０号のＰ．１９『３つの妖怪展』ぢつは、去る７月の２９日に日帰りで３つとも行ってまいりました。

いやぁスゴかったっス。何てゆーか涙流しそーになったとゆーのか、おしっこちびりそーになったとゆーのか。まぁ、こんだけの数の妖怪、一度っきに見る事はそーそー生涯に、２度３度とあるもんじゃないのとちがうかなぁ。なんせ８／３現在諸星大二郎ＦＣも妖怪研究会隠れ里もなーんもこれら３展の情報、教えてくれてないんですよ。

本っ当に水木伝説有難う！！です。

期間終了後に知った時には、私は死んでも死にきれんところでした。

大阪住まいの地方出身者で、ろくすっぽ電車その他の連絡も知らんよーなこの私が、３つかけもちで開催期間中の開館時間中に、この３つともにまわれる事が出来るなんてほとんどキセキです。簡単なレポートを少々。

AM 6:00	新大阪
AM 9:00	東京
AM10:00すぎ	武蔵小杉
AM10:10すぎ	川崎市市民ミュージアム『百鬼夜行展』
AM12:00すぎ	再び武蔵小杉
PM 2:00すぎ	大宮
PM 2:10すぎ	大宮公園前
PM 2:20ごろ	埼玉県立博物館『河童・天狗展』
PM 3:30すぎ	大宮
PM 3:45ごろ	上野から地下鉄三越前
PM 4:00まえ	『水木展』
PM 5:20ごろ	東京
PM 8:20すぎ	新大阪

ちなみにかかったお金は、交通ヒ約29,000円、図録3,900円、妖怪グッズ約3,000円、水木グッズ約5,000円、入場料1,800円、コーヒー牛乳１１０円、なかうの牛丼特もり＋玉子650ｏｒ700…と、トータルでだいたい４万３千円位かかりました。

生活ヒ、雑ピ、おこずかいのすべてをかきあつめて６万円用意して行ったのでなんとか帰ってこれました。

生活といわず、この１日には、人生そのものかけてもえーかなーと思う位こい１日でした。

１４時間中、移動してたりなんやかんやで８、９時間かかってるみたいです。実際に展示を見てたのは５、６時間足らずで、少ないかなーとも思いますが、それぞれ最低２～３回は順路まわってます。

水木展に関しては東京の会員さんや順次回る各地毎にレポートが入るとは思いますが、３Ｄの妖怪造型にもビックリ！！です。私しゃ、レインボー造型の品田冬樹氏がからんでいると見た！

もう水木先生の妖怪画を目の前にした時にはなんせ百鬼夜行、河童・天狗の後、つまり、しめくくり、という意味もあって、ハイホーのラリホー状態でした。幸いここでも水木先生以外とゆーか以前の妖怪画とかも見れました。水木展は当然ですが、他の２展も妖怪ファン必見です。只ちょっと気になる事があるんです。一つは夏休みをはじめとするお子様達お客さんの動員数の多さ、もひとつはしたり顔で説明する学芸員たち。

人気者、メジャー、ブームになって嬉しーんだけど、もうひとつしっくりこないもんがあるんですよね。なんてゆーんですか自分だけの大切なものの価値を大勢の人が認めてくれると面白くない。とゆーか、白日のもとにさらされて解説文までつけられてる妖怪達をみると、「おい、お前等。ホンマに大丈夫なんか！？」と思ってしまいます。

『妖怪』ってそもそも意味不明、正体不明ってコトでしょう？それがアレじゃあねぇ。でも、ひと晩寝たらちゃんと私にその答えをくれました。

「お前等（人間達の事）な～んも解っとらんがぁ。妖怪展などとぬかしてわしらの事すべて知り尽くしたよーな気持ちになっとーらしーけんど、お前等も言ってる通り、あてぇ等千変万化やでぇ、昔々、鎌倉や江戸時期そして今日までの（人間にとっては）永い年月、たかだた百や二百、千や二千の画や像で、わずかそれっぱかしの姿をとらえただけで何も解っとりゃぁせんがなぁ。たとえば、ソレ学校の怪談みてみい、花子さんにキューピットさん、キダタローの顔をした人面犬に、３本足のリカちゃん、今こうしている間にもあてぇ等手を変え、品を変え、存在しとるんよ。博物館に全てあさまるなんて考え方はハナッから持たん方がええよ」

との事です。もう、する事ないんやないかな、と一瞬思ったんですが、人間が生活して文化がある限り、妖怪はふえ続けるんでしょーね。あぁ楽しみ♡♡

最後の方で否定的なニュアンスの事もちょっと言いましたが、まぁ個人的に大満足です。

帰りの新幹線の窓から見える夕陽には、今まさに現れんとする、二百や三百の数の百鬼夜行が（１００鬼なのに、２００や３００とは変！）見えたよーな気がします。

じゃん、じゃなくて、どんとはらい、とっぺんぱらりのぷう。

【編】 いかがでしたか、今号から新連載の「人生はおっかむろ」
経験豊富な川口さんが、真理をついた愉快な語り口で、毎回楽しいレポートをお送りしてくださることと思います。
ところで、川口さん。面白い文章なので、勝手にコーナーを作り、勝手に連載ということにしてしまいましたので、次回の原稿を１０月末日までにお願いします。



No.14 古賀弘明(コガ広秋)
のっとりコミック
〈タイトル〉
恐竜は哺乳類だった!!人類最終
UFO兵器プリズナーで世界統一、
がんばれアメ○○。影の政府!!
ひとだま少女 ワンダナ=ワンダー ©コガ広秋 と 森沢里美(小物 協力)
か○め○やとの
トラブル(ってほどのこと
じゃねぇみたいだけど)
について……
一言!!
巨乳じゃなくて
ボインが好きなんだよ!!
私がその
○ご○し。の
代表の方に言い
たい!!
一方的な
悪口は!!!
(嫌がらせ)
REXより
愛敬のある
ベビー
ゴジラ
旧作よりパワフルそうな
メカゴジラ
ワン!!
てめぇ自ら
負けを認めた
のと同じ
なんだよ!!!
復刻版「妖奇伝」も1400円位だったら、保存用にもう一冊買うのに
○ご○し。の伊○ヶは、元ここの会員じゃなかったっけ?
くっだらねぇ悪口を書い
ているヒマがあったら
クォリティーが高く…
そして!!
買い求め安い価格の本
を出して勝負(?)した
方がいいと思うぞ!!!


○料理が得意
（ごちそうになりたい）
○私より絵がうまい
（だから師匠）
○横○に住んでいる
（私は福岡）
○実物は
美人
（本当だぜ!!）
以上!!!
○年齢は○○才
（私よりは年下）
○身長167センチ
（私は173センチ）
○恐れ多いのでボインかどうかは確かめられない
（だって…）
○和服も似合う
（ぐっとくるぜ!!）
※実在の人物!!
（本当っスゥ）
おーい! やっほー!!
し....師匠!!
あなたの個人誌②のことよ!
今日は…いったい何を……
○浜からわざわざ……
ワン!!
えっ
キャイン!!
ケケッ
あれま!!
ぎょぎょ



それにね!
本の内容だって
分かってるん
だからね!!!
ギョ
ギョ!!
ネッシー
モスマン
な…なぜ
そのことを
まだ俺だけの秘密だったのに…
ホホホホ…
弟子の考えること くらい
分からい
でか!!
だてに4年近くもあんたの師匠やってないわ
別に
私はかまわ
ないけど
まだ
ないしょの話
にして下さい…
いつ出すとも
本当に出せるかも
決まってないので…
サービス
カット
今度 月長石(ムーンストーン)の
ピアスをみつけてきやすので
それで かんべんを!!
OK!!
ムーンストーンで銭になるのか?
私の守護石をよく知ってるじゃん



〜ちなみに河童の三平は観てません。ＬＤ出たら買うっスゥ〜

Oh!バザール

この原稿は全てマッキントッシュにて製作しました。（大ウソである）

素人本特集

イヤハヤついに今回は鬼太郎物同人誌特集です。

案外鬼太郎の同人誌も結構見掛けますがその大半はキャラクター的なニワカ本で専門誌はほとんど見掛けられません。

そんなこんなで今回選んだ本も本来の鬼太郎マニアによる物はごく一部ですが比較的良き物をご紹介します。

「月読幻想・上巻」月読温泉旅行倶楽部

この本は結構ご存じの方は多いと思います。このスタッフの方々が作った鬼太郎のオリジナルストーリーのスライド作品の紹介用（？）の本らしいです。かのコンプでお馴染みの夢来鳥ねむさんが（プロの漫画家である）大きく関わっておられる本であります。又、コガヒロアキ氏の作品も収録されている。

ある意味でメジャーな人々の本であります。ただ、購入が非常に困難で、私の場合、問い合わせの返事に四、五ケ月、送金後未だ届いておりません。

これはたまたまコミケで売っていた不用同人誌で買ったものでその人も半年かかったとの事で郵送での購入は至難の技らしい。

問・〒121　東京都足立区島根4−10−6
茜寮B−202大久保香織様方「月読」係



AS-オフ

「よい子達の感想特集」プロジェクト小学七年生

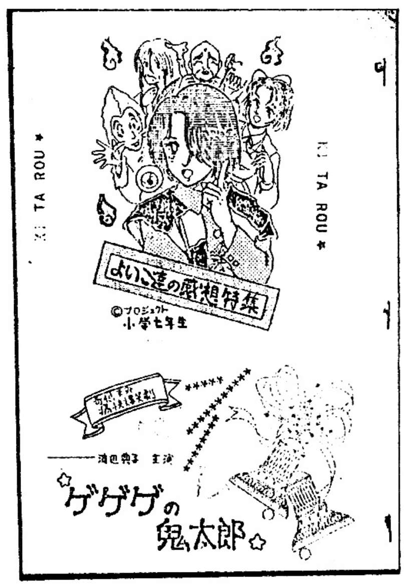
お次はその昔渡辺典子主演で公演された鬼太郎のミュージカルがありましたが、それの感想を集めた本です。コピー誌でかなり編集者はノリノリです。

ある意味で専門的かも知れない。

この中の藤本七郎なる人物がちっと上手そう。

「月読」で見かけた人の原稿がいくつかあり。

何といってもこの本は50円であった。巻末に「おたより下せえ」とあるが問い合わせた所、応答なし。



「はとぽっぽ」某地方中学校アニメクラブ

中学生の同人誌ですが割と出来がよい。ちゃんとマニア的ネタもあり。ただ7年くらい前の本です。



AS-オフ

「ACR0SSTHEUNIVERS」ゲゲゲクラブ

鬼太郎に関する私の先輩に当たる諏訪野くんち先生のコピー誌です。原作、アニメ（123作）実写に至るまであくまでマニアック、オリジナル小説有りの同人誌です。この本は2冊目ですが恐らくもう本人も在庫持って無いかも知れません。実写特集は鬼太郎の月ドラで鬼太郎役を演じた六浦少年の手紙でのインタビュー記事有り。

その内この本の内容を借りて何か実写特集誌を出すかも知れませんのでよろしく。

BS コピー

同。無せなのだ。





ザ・ムービー2 中々良く出来てたぞ。㊙の大秘密出版おめでとうございます!!
ジュラシックパークの20倍はいい作品だ。

タウリン





No.14　古賀弘明　No.14　古賀弘明

どうも、ビーデル川口です。いや斎藤さんのお名前と、佐藤さんのP.N見てると、(つまりミキ.とデーモン.な訳だこれが)こりゃあコウモリの翼広げて変身せにゃしゃあないなーと思っているところへドラゴンボール(Z)の新キャラの女の娘が可愛い人で、アホウな事も言ってみました。
同封のチラシは追加の新情報です。ハシカやホウソウを妖怪や幽霊みたく描いた絵や、それに対する魔よけ、まじないの展示です。
まぁ酒呑童子が妖怪→水木伝説に関係ない事もないかぁ、と送るのですが(かなりこじつけくさい)先のチラシとあわせて最悪全部ボツ(会報にのらんでも)でも馬場さんやスタッフの方々に目を通していただければそれでええです。それと『そる』早速通販申し込んでとどいて読んだんですが、すんごい内容と期待してた割にはちょっともの足りなかったです。電車の中の妖怪が少し面白かった。(水木伝説の百物語の方がはるかにスゴく感じた!!)只結論が私と同意見で、手をかえ品をかえ、姿をかえ妖怪は今も生きているってところは、やっぱ嬉しかったですね。そーゆー考え、感じ方をしてくれはる人が私の他にもいて。
あと、前にも書きましたが資料や情報が充実してる割にはなーんか妖怪ブーム素直によろこべません。たとえばホンマのファンがいたら今の恐竜ブームだっておもしろくないんとちゃうかなぁ、なんかお金もうけの思わくとかミエミエなんですよね。吉本新喜劇でも吉田戦車でもそうやけど、ブームになるとなんかイヤですね。けど水木、諸星、両方で活躍の柳葉蛙先生はスゴい。勉強とかも大変らしいのに、ようマネ出来ません。只妖怪系四大展みてまわれたんは招かれたと、とゆーかやっと妖怪達も『しょうがないな、御前も仲間に入れてやるよ』と、私を認めてくれたのではないかと、バク然とではありますがウレシイです、では馬場さんおっちょこちょいのお地蔵さんにヨロシク。
No.13　川口彰敬



☝No.１３　川口彰敬氏が送ってくれた資料。



鬼太郎のシールつくりました。原作+アニメ
風です。送料負担して下さる方に
差し上げたいと思います。
5枚まで120円切手です。よろしくっ
※ほしい枚数書いて下さいね。
〒002 札幌市北区篠路7条7丁目4の28
佐々木智美です。
ちなみに、B6版のシルバー刷りです。

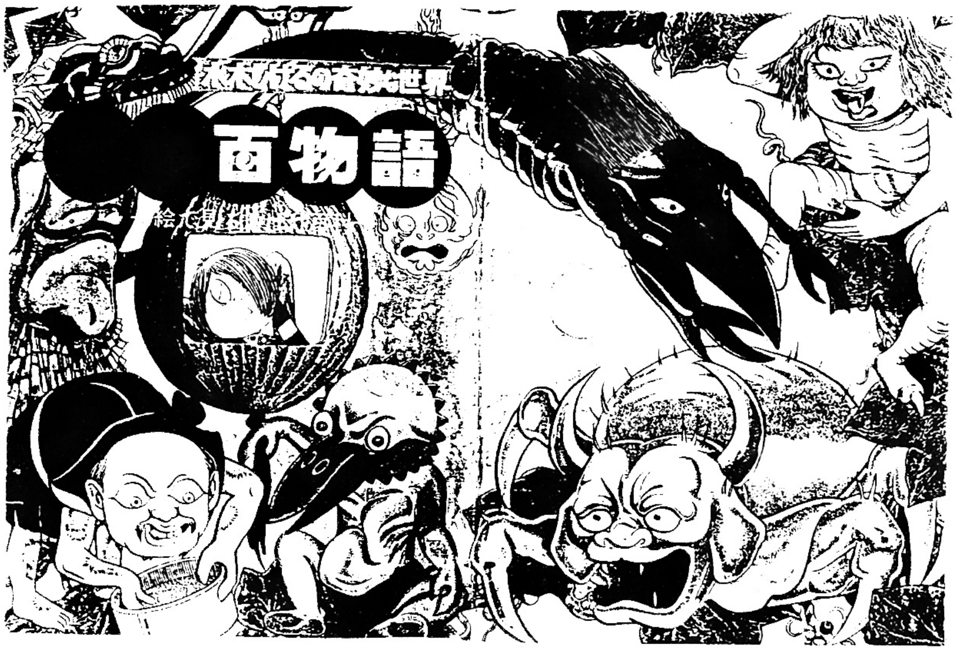


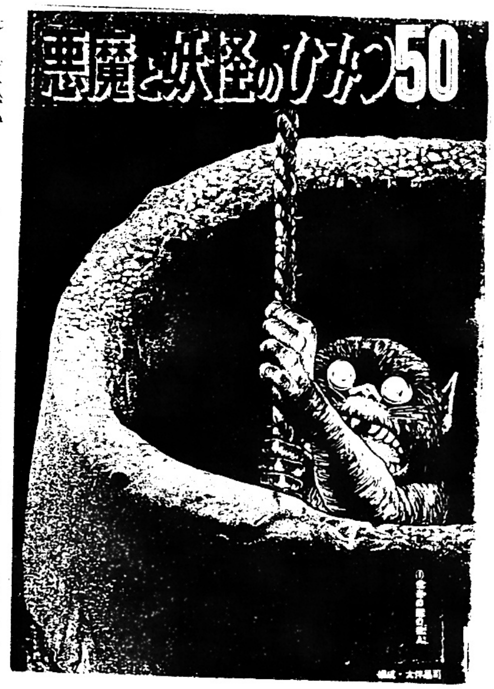
☝No.３３　佐々木智美

前略。「水木伝説Ｘ」、「ふはぁ30」拝受いたしました。「妖怪百物語」は、半年間時間をかけただけあって、充実した内容。素人離れした編集は、嫌がらせされてもしかたないのかなーなどと思ってしまいました。

杉浦日向子さんによれば(「絵筆を折って」『波』1993年7月号)、

「百物語」の「百」とは、……単に「たくさん」の意で、二、三十もあれば上出来……実際、古来より、「百物語」と題する怪談本は、百の半分も収録しないのが常だ……とか。





ところで、本棚を整理していたら、
「水木しげるの奇妙な世界 妖怪百物語」(1974年1月1日 発行 宝文館出版株式会社)という、A4、50Pほどの珍本を見つけました。内容は、構成に大判昌司の名前があるので、「週刊少年マガジン」の特集をまとめたもののようです。こんな変な本は、水木FCの皆さんと言えども、持っていないと思いますので、参考までにコピーを送ります。
「サザエさん」、「ドラえもん」、「鉄腕アトム」、「ゴマちゃん」、「ちびまる子ちゃん」、「パーマン」等、「カルト本」が大はやりですが、著作権の関係で、絵が全然入っていない。絵のない漫画の話ほど、無味乾燥なものはない。唯一、講談社の「天才バカボン」が赤塚不二夫の絵を載せている。
水木しげるのカルト本が出るとしたら、やっぱり講談社がいいなー。 1993.7.19

二伸。 夏はやっぱり、TUBEと水木しげるだなー。
水木しげる·金両基「日本の妖怪·韓国の妖怪」 『よむ』8月号
水木しげる·杉浦日向子「夏の夜の妖怪話」 『新刊ニュース』8月号
二つの対談を読みました。
7月23日、夏休みをとって東京へ遊びにいった。
池袋の芳林堂に、三越の「日本の妖怪展」の招待券があったので、いただいて、早速見にいった。
水木さんの原画は美しかったのだが、しかし、いちゃいちゃしているバカなカップルはどこにもいるですね。鬼太郎の原画を見ながら、肩を抱いたり、手を握ったり、後から殴ってやろうと思った。男が、呼子の話を、さも知ったかぶりをして、座敷童子などといって、バカな女が、感心してうなづいていた。後から、蹴りをいれてやろうかと思った。
腹立たしい一日であった。
「妖怪展」の売店で、講談社、中央公論社、朝日ソノラマ、ちくま文庫、小学館文庫等を販売していたが、収録作品が、まちまちでかつ重複しているので、「決定版·水木しげる全集」をどこかで出してもらえるといいなーと思った。
帰ってきたら、ほとんどあったことのない人だが、私の勤め先の最高幹部がゼネコン汚職で逮捕されていた。(茨城県知事、竹内藤男容疑者) 1993.7.26

拝啓。
『ゲゲゲの鬼太郎の大秘密』(松文館)を読んでいます。図版がたくさん入っていてとても、読みやすいです。まとめるのに四苦八苦などと謙遜されていますが、「水木伝説」を編集されている手腕を十分に発揮されていると思います。
他に、「ゲゲゲの鬼太郎の秘密」(データーハウス)という本も出ていますが、こちらは図版はなく読みずらい。
タイトルは、『秘密』の方は、『太秘密』にくらべて、マンガを語る本に図版がなくては、「台無し(大無し)」という意味でしょうか。笑点みたいだ。
(前回、唯一図版が掲載されているカルト本「天才バカボンの大神秘」の発行元を講談社と書きましたが、KKベストセラーズの間違いでした。)

さて、私も、8月号に水木しげるさんと杉浦日向子さんの対談が掲載された「新刊ニュース」の9月号、読者のひろばに、同封の投稿が掲載されました。
水木伝説を少しPRしました。
P.S.
JRの鳥取・島根「夢を たべる 旅に 出る。」のポスターは、山陰の風景と鬼太郎一家がマッチしていて、とてもいい雰囲気ですね。 1993.8.23.

No.99 猿田誠一

読者のひろば

66

水木さんは本人がおもしろい!?

水木しげるさんと杉浦日向子さんの対談を、面白く読みました。私は水木さんの大ファンで、いい年をして、「水木伝説」という水木さんのファンクラブにも入っています。
水木さんは、漫画よりも、本人の方が面白いといわれているのですが、対談の中でも、その一端がうかがわれます。
三年ほど前から、妖怪になっていたらしいなどと、平然とおっしゃられているのには、おどろいてしまいます。
対談の中の、お化けで町おこしの話は、まるで笑い話のようですが、同じ公務員として、観光の目玉のない町の苦肉の策、大変さを思うと笑ってもいられません。
水木さんの故郷、鳥取県境港市でも、水木しげるロードを整備し、鬼太郎やねずみ男の像を飾るとか、鬼太郎いりのエコーはがきも市役所でだしているとか。地方自治体は、頭の柔らかさが、求められているのですね。

(茨城県・猿田誠一・34歳・公務員)

妖怪を思い出す

八月号の「新刊ニュース」の水木しげるさんと杉浦日向子さんの対談、妖怪のおでましにはぴったりの夏、猫は魔物と申しますが、犯罪の渦巻く事件には、不気味ななき声とともに登場するのが黒猫、妖怪の種類に数えられるでしょうか。でも、私は猫は大好き、確かに人の言葉を理解するようです。「幽霊と妖怪」はひとつは面白いですね。
「ゲゲゲの鬼太郎」。在職中の一時期には私を含め大の男がよくみたり、主題歌を歌ったりしたものでした。妖怪って本当は素直で、可愛いものなんですね。何かと問題ばかりおこす、欲深い人間よりもずっと、ずっと素晴らしいと思いますよ。妖怪の世の中の方が思いやりがあるのではないでしょうか。
対談を読みながら、遠い過去をふり返り、妖怪が住みやすかった当時の事がなつかしくおもいだされました。

(豊田市・武田英雄・66歳・無職)

〈読者の皆様へ〉
「読者のひろば」への投稿を募集しています。小誌へのご意見ご感想、読まれた本の感想や話題など四〇〇字程度で。住所・氏名・年齢・職業を明記の上、「新刊ニュース」編集部宛お送りください。掲載分には図書券(二千円)を進呈します。

編集後記

日曜日、焼跡の東京。小年が竹棹にバックネットを練り歩くと町内のそこここ好の少年が姿を見せ、何時そして神宮前のデコボコの集合し、昼ごはんも食べずなって、野球に興じる。日ルが見えなくなると、またバックネットをかついで家路につく。本文に収録しきれなかった安部氏のスポーツ原体験です。▷最近は翻訳でも活躍中の山際氏。英文科出身でもなく、どこで翻訳の勉強を、と伺いましたら、対談中にあるプリンプトンを原文で読みたい一心で30代になってから勉強されたとの事。常に新しい領域に挑戦している山際氏ならではのエピソード。 (10)

表紙のことば

草そよぐ用水路に水車を並べて田に水を揚げる風景を保ち続けて、高知県中村市郊外はいま、観光・水車の里 (薗部澄)

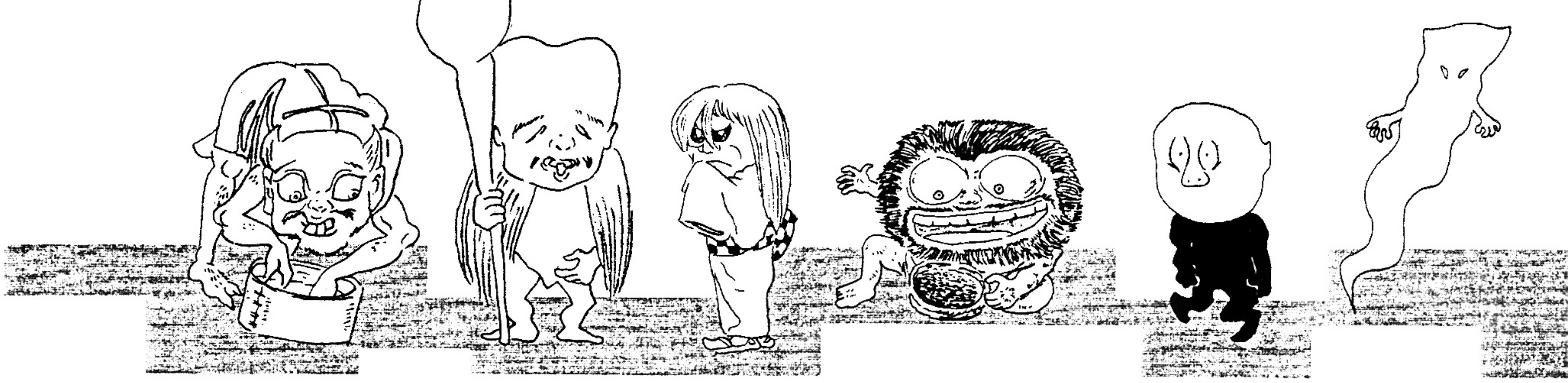
新刊ニュース
9月号 NO.518
平成5年10月1日発行 毎月1回1日発行
編集発行人 志村永一 頒価140円 送料46円
株式会社トーハン
〈本社〉 〒162 東京都新宿区東五軒町6番24号
TEL 03(3266)9587 〈広報室〉
●全国サービス網 札幌・弘前・仙台・石川・新潟・東京世田谷・千葉・与野・横浜・静岡・名古屋・岩倉・京都・大阪・神戸・岡山・広島・高松・松山・福岡・北九州・大分・那覇
印刷／形成社印刷株式会社

No.26 笠井友紀子

UFOキャッチャーの悲劇 Part II.

親切なゲームセンターの
おじちゃんがわざわざ
取りやすいようにぬいぐるみを
補充してくれたにも
かかわらず—— とれなかった。
あぁ—— 私ってば……





「水木しげるロード」に着手

市では商店街を活性化しようと、平成三年度から五年計画で、コミュニティー道路の整備（潤いのある道づくり）に取り組んでいます。

コミュニティー道路の区間は、境港駅周辺から本町商店街までの延長五百二十五メートル。従来の歩道を車道側に広げて、モザイクタイルを敷き、植樹やポケットパークなどを整備していく計画ですが、この歩道整備に併せて、平成四年度から新たに「水木しげるロード」に着手しました。

これは、当市出身の漫画家・水木しげるさんの作品に登場する妖怪を、オブジェや絵タイルにして、歩道やポケットパークに設置しようとするもので、対象区間は、境港駅周辺から松ケ枝町商店街までの四百四十メートル。平成六年度に完成の予定です。

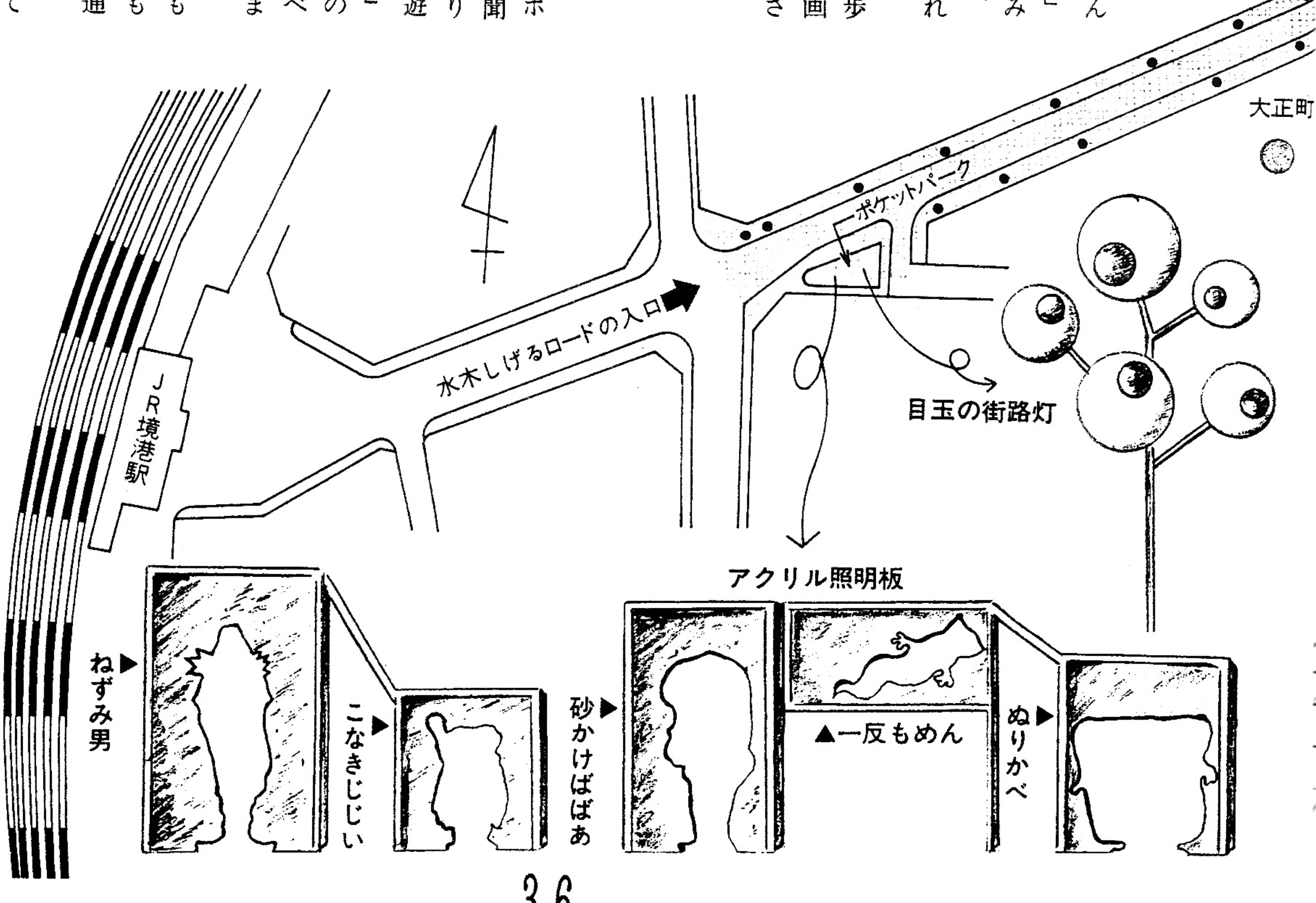
オブジェは、ブロンズ製の妖怪などを、クロミカゲ石の台座に乗せたもので、全部で三十七体。高さ二十センチメートルから三十センチメートルの小さな妖怪が大部分ですが、水木さんの人気漫画「ゲゲゲの鬼太郎」に登場する「鬼太郎」「ねずみ男」「目玉おやじ」の三体は、シンボルとして等身大で作られます。

また、妖怪の絵タイルは、歩道の中に二十枚をはめ込む計画で、現在、妖怪の原画を水木さんに依頼中です。

ポケットパークは遊びや憩いの場

「水木しげるロード」には、市民の遊びや憩いの場となるポケットパークを整備。音楽が聞こえるサイン・ネーミング入りの照明柱、くぐり抜けをして遊べる「ねずみ男」「ぬりかべ」などのアクリル照明板、目玉の街路灯、絵入りのユニークなベンチやテーブルなどを設置します。

そのほか、大正川の歩道橋も幅を広げ、道路にマッチしたものに作り替えるなど、商店街通りが個性的で楽しい「道」に、もうすぐ生まれ変わろうとしています。



愉快な妖怪たちに出会えます

水木しげるロード

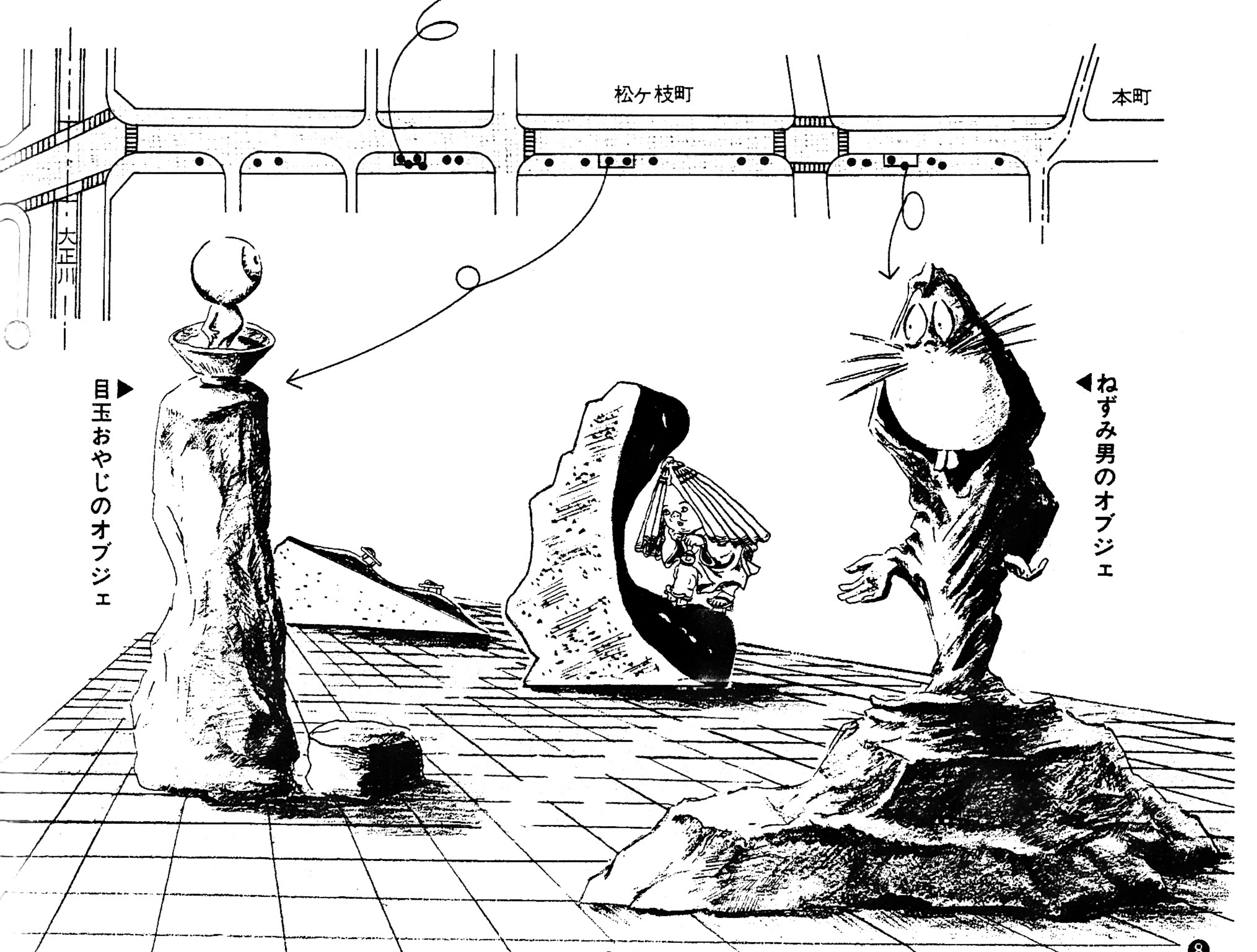
漫画「ゲゲゲの鬼太郎」に登場する妖怪たちが、市内商店街の歩道に出現。手を差し出す「ねずみ男」や、入浴中の「目玉おやじ」、石のベンチで瞑想する「鬼太郎」。

皆さん、こんな妖怪たちに出会えるとしたら、どんなに愉快なことでしょう。

今号では、市が取り組んでいる「潤いのある道づくり」の一つ、「水木しげるロード」の概要をご紹介します。



鬼太郎のオブジェ▶



▶目玉おやじのオブジェ

◀ねずみ男のオブジェ

◆水木しげる情報◆

——— Shigeru Mizuki inteligence '93 Autumu ———

一回お休みしたのは『ゲゲゲの鬼太郎の大秘密』の執筆で忙しかったからである。皆さんご免なさい。さぁ「帰ってきた水木しげる情報」まずは好評発売中『続・妖怪画談』ですが、前巻の好評で売れるのが当たり前になった感があり前回ほど新聞、週刊誌を賑わせていません。しかし、『続・妖怪画談』が凄い売行きなのは事実で、それが証拠に現在連載中の週刊ヤングジャンプ『世界妖怪大全』と週刊朝日百科『動物たちの地球』の『水木しげるの幻獣劇場』で二つのカラー版妖怪原画を発表中である。また、水木先生自身も岩波書店との仕事に一番意欲的で、水木プロに訪問の際は必ず岩波の話が出る。先生は妖怪画談の続編として『幽霊画談』を、そして沖縄妖怪、中国妖怪も発表したいと話している。来年の夏も岩波書店で盛り上がりそうだ。

さて、連載陣も充実しており水木しげるの憑物百怪(学研・月刊ムー–毎月1日発売)は何時迄続くのか?、ゲゲゲの鬼太郎ふしぎ話(講談社・テレビマガジン–毎月1日発売)は連載中なのにアニメ化はどうなったのだろうか?等と気になるところだが、何と云っても二つの漫画に人気が集中しているようだ。一つは小学館・「ビッグゴールド」(毎月28日発売)の『不思議シリーズ』だ。タイヤキ大好き、アリャマタコリャマタ先生が人気で9号には『水木しげる伝』を執筆中のノンフィクションライター足立倫行さんも出演。もう一つは小学館の「小学生1年生」に連載中の『カッパの三平』である。旧作では死んでしまった三平だが、平成の今、元気に活躍中である。前者はいずれ単行本化されるだろうが、後者の単行本化は期待薄なのでぜひ買っておいた方がよいだろう。小学館は「てれびくん」で『カッパの三平妖怪だいずかん』を連載中。小学館が独占している「カッパの三平」のアニメは今後も全国上映を続ける予定である。まだ見ていない方、地元の劇場公民館をチェックのこと。それでも見逃した方に朗報。12月にビデオが出るのだ。楽しみに待とう。さて、この劇場版アニメ『カッパの三平』は恥かしながら水伝スタッフもまだ未見なのだ。9月11(土)・12(日)・15(祝)日に伊丹市立文化会館にあの問題作?ＲＥＸと同時上映するので１２(日)にスタッフ一同で見に行く予定ですので地元の会員の方もぜひ見にきてください。



今回も水木しげるの最新情報をお届けした分けだが、今最も盛り上がっている水木先生の生誕地、鳥取県は境港市での水木しげるロード。本来ならここで紹介せねばならない情報だが、紙面の都合上次回『フハッ』でまとめて紹介しようと思う。それくらい莫大な情報量なのだ。乞うご期待。

出版物

◇悪魔くん・ノストラダムスの大予言

・辰巳出版刊 好評発売中。￥９８０

皆さん、もうお手にされたであろうか?多分驚かれたであろうと思います。我々も驚きました。なんと続巻があるのです。いわゆる後編に続く。という。早速後編の発売日を問い合わせたところ来年3月か、4月頃の予定だそうです。待ち遠しいなぁ。

※最後に、『フハッ』読者だけの独占情報を…

『ゲゲゲの鬼太郎の大秘密』が売行き好調との情報が入りました。従いまして続巻『ゲゲゲの鬼太郎の謎謎謎』(仮)の発売が決定しました。年末、全国書店に並ぶと思います。前巻が鬼太郎の入門書的な編集であったのを改め、マニアックに構成したいと思っております。肝心の『水木伝説XI』は予定通り遅れております。現在、発送日の目処が立っていませんが年内には発送いたしますのでお待ちください。Oh、スタッフが不足じゃぁ。

Meet ざ・こみっくす

水木しげる「のんのんばあとオレ」

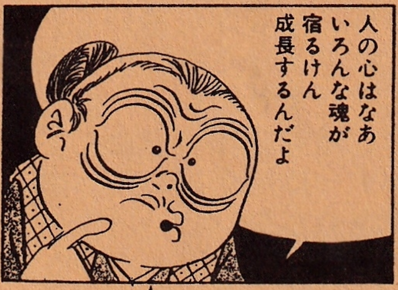
人生を教えられた少年時代

呉 智英

水木しげるといえば、妖怪マンガの第一人者としてよく知られている。その名声の陰に隠れがちだが、伝記マンガにも優れた作品を残している。『ヒットラー』『星をつかみそこねる男（近藤勇伝）』は文庫化もされているし、最近では、猫の目を通して南方熊楠を描いた『猫熊』が面白かった。こうした伝記マンガ家としての才能は、自分自身の伝記、すなわち自伝にも発揮されている。本書『のんのんばあとオレ』だ。

『のんのんばあとオレ』は、初め、「ちくま少年図書館」の一冊として一九七七年に刊行された。その時はマンガ作品でなく、文章による自伝であった。飄逸なユーモアのあふれる作品として読みつがれ、一昨年にはNHKのテレビドラマにもなった。今度の『のんのんばあとオレ』は、そのマンガ版であり、また活字版とちがう味つけもほどこしてある。

水木しげるは一九二二年、鳥取県境港に生まれた。町角には祠（ほこら）があり、裏山では狐が鳴く、といったのどかな田舎町だった。水木少年の家に手伝いとして出入りしていたのが、のんのんばあである。拝み屋をしていたつれあいを亡くし、家政婦のようなことをやって暮らしていたのだ。このののんのんばあが水木少年に伝説や年中行事の話をする。妖怪マンガ家水木しげるの基礎は、この時に作られたことになる。



©水木しげる「のんのんばあとオレ」（講談社・コミックス）

同時に、水木少年は腕白なガキ大将でもあった。製材所の作業小屋を根城に、子分を集めては戦争ごっこに熱中していた。子供の世界ではあっても、そこには権力もあれば裏切りもあれば挫折もある。こういったものを体験しつつ、子供は大人になる。ただ、人生の良き先達がいれば、子供が突き当たる壁も乗り越えやすくなるだろう。のんのんばあは、ここでもまた水木少年の良き先達であった。しかし、それは、一方的なものではない。「セッタイ」という年中行事に必要な菓子が調達できない貧しいのんのんばあに、水木少年は自分のもらってきた菓子を進呈する。

のんのんばあの淋しそうな姿は、貧しいことのみじめさを水木少年に教えているのだ。

活字版とマンガ版のちがいは、父親の扱いだろうか。地方在住の趣味人である父親の諦観のこもった言葉が、物語に奥行きを出している。シナリオ協力者の高橋正圀の手柄だろう。

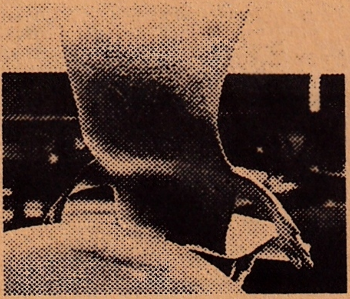
この作品が描き下ろしであることにも注目しておきたい。毎回受けをねらう必要がないゆとりのある味わいは、やはり描き下ろしならではである。

（評論家）

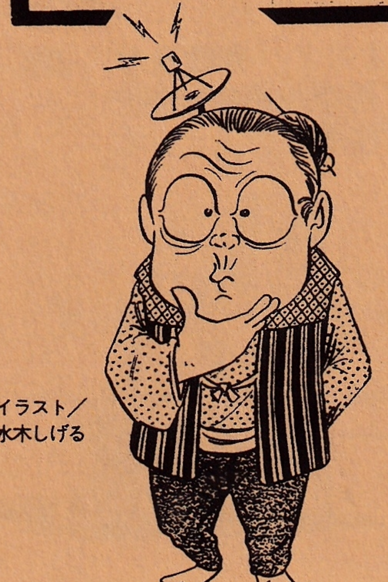
＊＊＊＊＊＊ 妖怪が消えた！

除幕式が十八日にあったばかりの鳥取県境港市の「水木しげるロード」で、妖怪（ようかい）像二体が盗まれていたことが二十二日わかった。十六日には別の妖怪像が壊されており、同市は防止対策に苦慮している。

盗まれたのは「一反木綿」＝写真＝など二体のブロンズ像で、いずれも高さ三十㌢ほど。台座とつなぐボルトを折ったり、ボルトごと抜き取られたりしていた。



市は「夏休みで見物客も多いのに」とかんかん。夜間照明の延長を検討する一方、境港署に夜のパトロール強化を依頼。同署も犯人の捜査を始めた。同市の出身で漫画の原作者水木さんも「楽しみにしていた子どもたちのために返してほしい」と訴えている。



イラスト／水木しげる

新入会員紹介

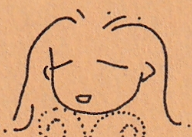
「ゲゲゲの鬼太郎の大秘密」のお陰で只今、入会希望者が急速増加中！今年のうちに、いよいよ２００人を突破するか！？

No. １３６　澤田 光代

住所／東京都立川市
好きな作品／妖花アラウネ

はじめまして。
澤田光代です。

- 「妖奇伝」を読んでから水木先生の作品が大好きになりました。



趣味は
- バイオリン
- 読書（江戸川乱歩 ドイル アガサ・クリストフ）

・どうぞ・よろしく・おねがい・いたします・

No. １３８　岸本 倫太郎

住所／東京都江戸川区
好きな作品／コケカキイキイ

三年位前に水木先生のファンになったばかりの新米ですが、どうぞよろしくお願いします。最近少しでも多くの水木作品にふれようと、(浪人なのに)古本屋巡りをしています。それにしても水木先生の古本は高いですね。ヒイヒイ言いながらも頑張っています。

No. １３７　諏訪 昌夫

住所／神奈川県相模原市
好きな作品／群衆の中に



プレゼント

ＵＦＯキャッチヤーのぬいぐるみ「鬼太郎」「目玉親父」「カッパの三平」「たぬき」「河童」が多数あります。ご希望の方はおくづけ住所までご連絡ください。

･提供＝№６６　**松原理江**さま

♤編♧集◇後♡記㊙

恒例のサマーイベント特集てなわけで、今回は、一週間で編集を終わらせるという司令が、馬場会長より下ってきまして結局、ホントに一週間で完成させたんだから、我ながら驚いています。
これで次からもう少しさぼれるなんて考えていませんから、あしからず……。
で、結局編集後記なんて言って、このコーナーは何が言いたいのかって言うと、穴埋めしないといけないから……どうでもいいんですよ、ホントに。

瀬戸"変臭腸"信行

【フハッ】第３１号
《サマーイベント in KOBE '９３特集》
平成５年９月１２日発行

今月のラッキーボーイ／北迫耕治（右）瀬戸信行（左）
斉藤美紀（イラスト）竹本未礼（中央）

担当／馬場茂幸、米吉和久、瀬戸信行、斉藤美紀、佐藤公紀、幸治　亮、

協力／川口彰敬、竹内丈、笠井友紀子、水上文生、古賀弘明、猿田誠一、佐々木智美、松原理江、足立倫行、（株）松文館　※順不同・敬称略

多謝／水木しげる先生
水木プロの皆様

印刷／プリントハウス
編集人／瀬戸信行・馬場茂幸
制作・発行／水木しげるＦＣ・水木伝説
〒６５４－０１
兵庫県神戸市須磨区北落合３丁目３８－２１７－７０９　馬場方